市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-①	浦添市来ワ来ワ推進事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-⑵-ア 世界水準の観光リゾート地の形成
担当部課名	都市建設部都市計画課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-⑴

事業内容	平成24年度調査にて抽出された課題をもとに、まちづくりの検討を行う。また、新たな地区での観光資源を創出するための基礎調査を実施する。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	8,028	8,000			
	(b)予算現額	8,028	8,000			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	―	―			
	A．計(b+d)	8,028	8,000			
B．執行済額		5,638	7,560			
うち交付金充当額		4,510	6,048			
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		70.2%	94.5%			
予算の状況の説明		･不用額が440千円発生しているが、入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･平成24年度調査より抽出された課題を基にした基本構想を検討。 ･新たな地区の観光資源、まちづくりの課題抽出。	目　標	（基礎的調査）	（基本構想案作成 基礎的調査）	（　）	（　）
	実　績	基礎的調査	基本構想案作成 基礎的調査		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				
達成状況説明	平成24年度調査結果を活用しながら、観光と都市計画の視点からまちづくりの課題と整備の基本構想の案等について検討を実施した。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
･平成24年度調査より抽出された課題を基にした基本構想を検討。 ･新たな地区の観光資源、まちづくりの課題抽出。	目　標	（　）	（基礎的調査）	（基本構想案作成 基礎的調査）	（　）	（　）
	実　績		基礎的調査	基本構想案作成 基礎的調査		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明	･屋冨祖、オリオン通り周辺地区:基本構想案の作成を実施した。 ･その他地区:基礎的調査等より抽出された課題より土地利用方針の検討、改善の検討を実施した。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・観光の観点から：新たな「観光拠点」の形成、「歴史・文化資源」の活用、「沖縄らしい風景や場」の創出、移動しやすい交通システムの構築等、更なる検討が必要である。 ・まちづくりの観点から：新たな「拠点」「都市軸」の形成、人に優しい都市基盤の形成、災害に強いまちづくり、密集市街地の改善対策、公園・緑地の整備、地域コミュニティ等、更なる検討が必要である。	・屋冨祖、オリオン通りについては、基本構想案を基に、観光まちづくりの実現に向け地域とのワークショップ、勉強会の開催を行う。 ・シンボルロード沿線地区については、浦添グスク等地区に相応しい観光の軸とした土地利用を図るための基本構想の作成を行う。 ・港川道路シリンカー周辺地区については、貴重な自然、文化財が数多く残る地域性を活かしつつ、新たな観光・交流拠点としての土地利用を図るための基本構想の作成を行う。 ・密集市街地の改善及び防災等の観点から、狭隘道路の解消に向け、地域の特性を考慮した事業手法の検討を行い、基本構想案の作成を行う。

今後の取り組み方針

抽出された課題を基にまちづくりを検討
・屋富祖、オリオン通り周辺地区基本構想(平成26年度）を基に整備計画案の策定（平成29年度）
・シンボルロード沿線地区及び港川道路シリンカー周辺地区の実施に向けた基本構想の策定（平成27年度）
・市街地密集地区の抽出された課題を基に基本構想の検討・策定（平成28年度～平成29年度）

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,560	7,560	6,048	1,512	

浦添市
7,560千円

委託料
7,560千円

株式会社　国建
7,560千円

浦添市来ワ来ワ推進事業業務委託
・観光資源の現状把握
・都市計画に係る課題の整理
・まちづくりの基本的な方向性の検討
・整備手法の検討

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は指名競争入札より決定した。 ・費目、使途については事業目的達成の観点から、見積書より確認し適正であると判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１－②	浦添市歩いて楽しいまち探検推進事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	３章－３－(2)－イ 世界水準の観光リゾート地の形成
担当部課名	美らまち推進課	事業実施(予定)年度	平成２４～２８年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－(1)

事業内容

観光地としての価値向上に資するため、植栽設置工事や草花配布等を行う。

実施方法

□直接実施　□委託　□補助　□負担　■その他（苗木配布）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	5,025	500			
	(b)予算現額	5,025	500			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	－			
	A．計(b+d)	5,025	500			
B．執行済額		5,025	500			
うち交付金充当額		4,000	400			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%			

予算の状況の説明：草花配布を年間を通じて行い、計画どおりの予算執行ができた。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
市民への草花配布件数　50件	目　標	(　45件　)	(　50件　)	(　　)	(　　)
	実　績	45件	63件		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				

達成状況説明：観光地としての価値向上に資するため、草花配布等を行い、目標どおり達成することができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(28年度)
市民への草花配布件数　50件	目　標	(　-　)	(　45件　)	(　50件　)	(　　)	(　70件　)
	実　績		45件	63件		
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

進捗状況説明：H25年度植付面積　3001m2　延長　2301m　苗木配布8160本を行ったことで、道路沿いの緑化推進が図られ観光地としての価値向上につながった。

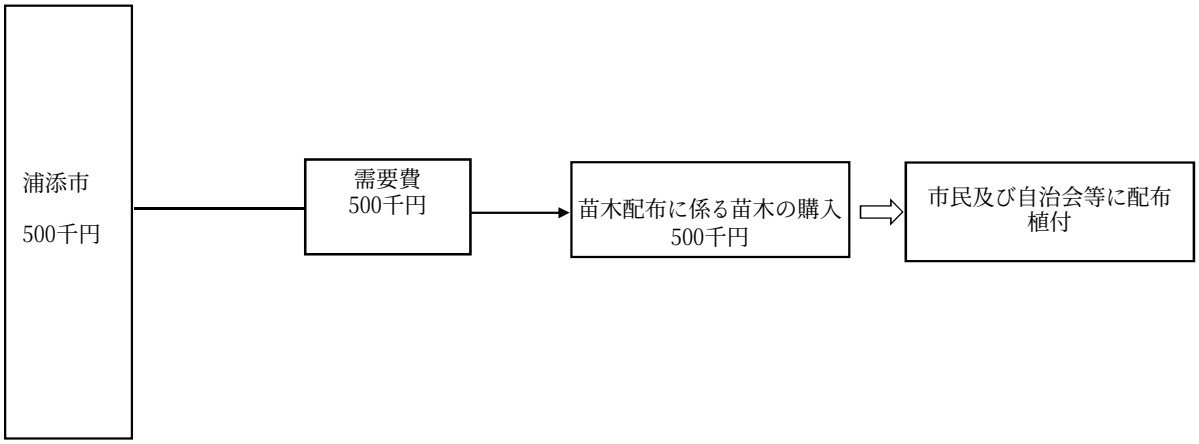
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	今年度は６３箇所の苗木配布があった。 配布先の市民も少しづつ増える傾向にある。	沿道緑化を増進していくために、苗木配布対象であるボランティア（美らまちサポーター）を増やす必要があるため、緑化講習会などを通じて緑化への意識向上を図る。

今後の取り組み方針

今後とも増大が期待される観光産業の経済効果を高めていくために、観光客や県民の誘客の必要性から、歩き（歩っちゅん）をテーマに誰でも気軽に楽しめるウォーキングによる観光振興を目指しており、沿道緑化など潜在する魅力を発掘創出していくことが必要不可欠であり、今後も観光地としての価値向上に資するため、草花配布等を継続的に行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
500	500	400	100	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○配布した苗木は、道路等の公共施設に植栽され、生育も問題なく、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１－③	てだこの都市･浦添「あまくま歩っちゅん浪漫ｳｫｰｸ」		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章２－（1）－イ 「スポーツアイランド沖縄」の形成
担当部課名	教育部　社会体育課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－(1)
事業内容	全国のウォーカーと友好を図り、「いきいき生涯健康づくり」を推進するとともに、本市の歴史･文化、地域特性を活かした交流の輪を広げるため、「うらそえツーデーマーチてだこウォーク」を開催した。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	10,000	10,000			
	(b)予算現額	10,000	10,000			
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	―				
	A．計(b+d)	10,000	10,000			
B．執行済額		7,562	7,714			
うち交付金充当額		6,050	6,171			
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		75.6%	77.1%			
予算の状況の説明		当初計画していた事業は実施した。不用額が2、286千円発生しているが、入札等による執行残が主な要因であり、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
てだこｳｫｰｸ2日間開催	目　標	(　2日間開催　)	(　2日間開催　)	(　　)	(　　)
	実　績	2日間開催	2日間開催		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				
達成状況説明	スポーツアイランド沖縄をめざし、「てだこｳｫｰｸ2014」を浦添市民体育館を主会場に,平成26年2月1日（土）～2日（日）に開催し、滞りなく運営できた。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(28年度)
てだこｳｫｰｸ参加者	目　標	(　6,783人　)	(　7,500人　)	(　7，600人　)	(　　)	(　7,900人　)
	実　績		6,783人	7，678人		
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					
進捗状況説明	てだこｳｫｰｸ2014を開催し7,678名の参加者がウォーキングを楽しんだ。昨年実績を大きく上回り目標値を達成した。					

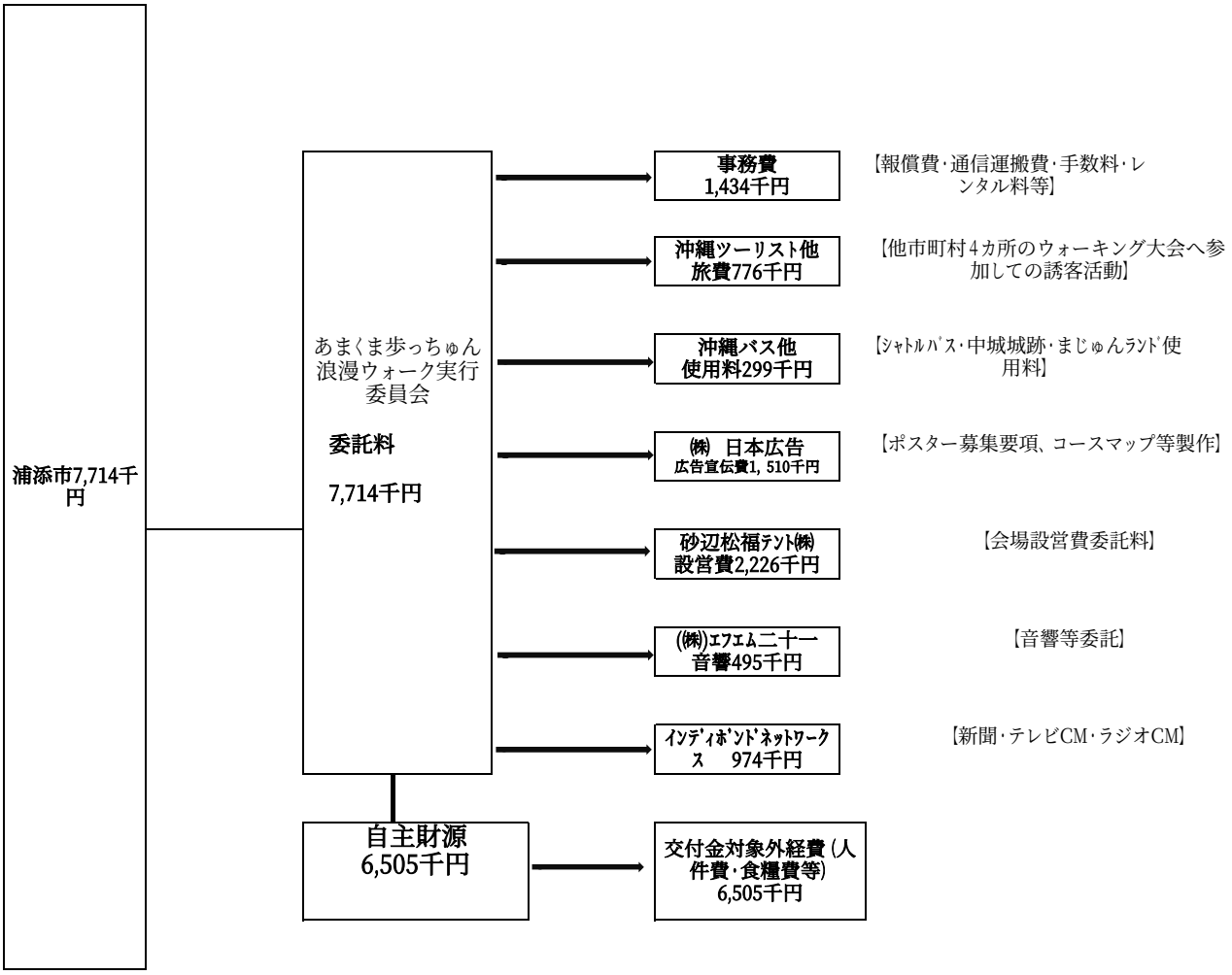
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・てだこｳｫｰｸ参加者数は事前の予想がむづかしく、その時期の世相や天候等が複雑に反映され、又広報活動の手法も影響する。2日目は開始時から雨に見舞われ、当日参加者に影響がでた。 ・事業運営も参加者ニーズをどう把握し取り入れるか、運営側に蓄積されたノウハウが必要である。 ・本市には宿泊ホテルがなく、県外、国外に参加者を増やす環境づくりが必要である。	・広報活動の手法を検討する。 ・担当者の研修や先進地視察をとおした資質向上。 ・参加者ニーズの把握のため参加者ｱﾝｹｰﾄの実施。 ・観光客誘客コンテンツの発掘と整備。 ・那覇より会場までのシャトルバスを運行。

今後の取り組み方針

・平成２６年度は広報活動の一環としてホームページの構築を図りたい。さらに、魅力的なイベント作りを通し地域の交流や活力を醸成しまちづくりにも役立てたい。将来的にはｽﾎﾟｰﾂﾂｰﾘｽﾞﾑ推進を図りワールドワイドな大会をめざしたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,714	7,714	6,171	1,543	6,505



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は入札及び見積もり合わせで浦添市契約規則に基づき施行しており妥当な選定であると考える。 ○費目・使途については支出時の書類確認、決裁を経ており適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-④	ありんくりんクリーン事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章-3-⑵-ウ 世界水準の観光リゾート地の形成
担当部課名	文化部　文化課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-⑴
事業内容	史跡浦添城跡などの古城跡や石畳道、石橋、歴史的人物の墓、地域の御嶽や湧水等の文化財を観光資源として活用するために美化や安全等の環境整備を図る。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	3,133	5,840			
	(b)予算現額	3,133	5,840			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	0	0			
	A．計(b+d)	3,133	5,840			
B．執行済額		2,907	4,750			
うち交付金充当額		2,326	3,800			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		92.8%	81.3%			
予算の状況の説明	当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
文化財の美化活動等の実施	目　標	（　9箇所　）	（　9箇所　）	（　　）	（　　）
	実　績	11箇所	11箇所		
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：史跡浦添城跡の清掃および市内文化財の除草作業等を実施し、来訪者が快適かつ安全に見学できるように環境整備を行った。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
文化財の美化活動等の実施	目　標	（　-　）	（　9箇所　）	（　9箇所　）	（　　）	（　　）
	実　績		11箇所	11箇所		
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：史跡浦添城跡の清掃および市内文化財の除草作業等を実施し、来訪者が快適かつ安全に見学できるように環境整備を行った。

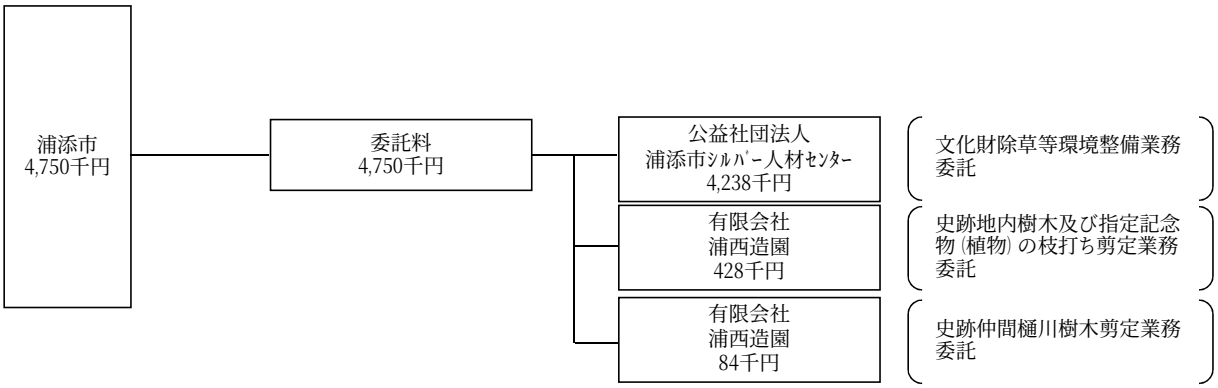
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	本事業を実施したことによって、文化財を快適かつ安全に見学できる環境を確保することができ、市内外からの来訪者や観光客を受け入れる環境を整えられるようになった。	危険箇所への立入禁止の表示や柵の設置など、安全確保の徹底ということからするとまだ対策が十分とは言えない箇所もあるため、さらなる対策が必要である。

今後の取り組み方針

史跡浦添城跡などの古城跡や石畳道、石橋、歴史的人物の墓、地域の御嶽や湧水等の文化財を観光資源として活用に向けて、各文化財地域において、危険箇所の見落としや安全対策の不十分な箇所等がないか調査を行った上で、それぞれに応じた安全対策を検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,750	4,750	3,800	950	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	地方自治法施行令及び浦添市契約規則に則り執行しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-①	てだこ市民によるウラオソイ風景づくり推進事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-7
					沖縄らしい風景づくり推進事業
担当部課名	都市建設部　美らまち推進課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)

事業内容

沖縄らしい景観･風景を次世代に守り継ぎ、風土を高める礎とするため、世界遺産の追加登録を目指す「浦添グスク周辺エリア」と基地跡地利用に於いても先導的役割を担う地区を含む「西海岸周辺エリア」において景観法･都市計画法に基づく「景観地区」や「地区計画」等の地区指定を図りつつエリア内の地域資源の復元整備計画や美装化事業計画の策定などを行う事により「住んで良し、訪れて良し」の浦添市の観光振興を含めた地域振興を目指す。また、「沖縄らしい風景づくり推進事業」における各事業の位置付けや関連性の整理と成果目標をまとめる為に「景観向上行動計画」を策定する。

実施方法　□直接実施　■委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	14,958	38,349			
	(b)予算現額	14,958	38,349			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	—	—			
	A．計(b+d)	14,958	38,349			
B．執行済額		13,708	34,692			
うち交付金充当額		10,966	27,754			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		91.6%	90.5%			

予算の状況の説明：不要額は入札残によるものであり、当初計画していた事業内容は全て実施した。
成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･風景づくり推進調査委託業務(ｶｰﾐｰｼﾞ･港川城間地区の風景づくり)	目　標	(基本方針の策定)	(整備方針等の策定)	(　　)	(　　)
	実　績	基本方針の策定	整備方針等の策定		
･風景づくり推進調査委託業務(都市モノ沿線地区(グスク周辺地区)の風景づくり)	目　標	(将来像の検討)	(基本方針の検討)	(　　)	(　　)
	実　績	将来像の検討	基本方針案の策定		
･風景づくり推進調査委託業務(都市機能用地地区の風景づくり)	目　標	(景観形成基準の策定)	(　—　)	(　　)	(　　)
	実　績	景観形成基準の策定	—		
･景観向上行動計画の策定	目　標	(方向性を検討)	(計画の策定)	(　　)	(　　)
	実　績	方向性を検討	計画の策定		
･茶山中通りの美装化の検討	目　標	—	(基本構想の検討)	(　　)	(　　)
	実　績	—	基本構想の策定		
･風景街なみ形成に資する建築技術の提案	目　標	—	(基準案に基づく技術提案)	(　　)	(　　)
	実　績	—	基準案に基づく技術提案		
･古民家の実態調査と活用方法の検討	目　標	—	(調査、検討)	(　　)	(　　)
	実　績	—	調査、検討		

達成状況説明
- ･ｶｰﾐｰｼﾞｰ･港川周辺地区の海浜公園計画地において、景観重要公共施設指定に向けた整備方針等案を策定した。
- ･都市モノ沿線(グスク周辺地区)地区における景観形成の基本方針案を策定した。
- ･景観向上行動計画を策定した。
- ･茶山中通りの美装化計画について基本構想を策定した。
- ･景観形成基準案に基づく技術提案をまとめた。
- ･市内の古民家の実態調査を行い、古民家の定義付けから利活用法の検討を行った。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
･風景づくり推進調査委託業務(ｶｰﾐｰｼﾞ･港川城間地区の風景づくり)	目　標	(　　)	(基本方針の策定)	(整備方針等の検討)	(　　)	(　　)
	実　績		基本方針の策定	整備方針等の検討		
･風景づくり推進調査委託業務(都市モノ沿線地区(グスク周辺地区)の風景づくり)	目　標	(　　)	(将来像の検討)	(基本方針の検討)	(　　)	(　　)
	実　績		将来像の検討	基本方針案の策定		
･風景づくり推進調査委託業務(都市機能用地地区の風景づくり)	目　標	(　　)	(景観形成基準の策定)	(　—　)	(　　)	(　　)
	実　績		景観形成基準の策定	—		
･景観向上行動計画の策定	目　標	(　　)	(方向性を検討)	(方向性を検討)	(　　)	(　　)
	実　績		方向性を検討	方向性を検討		
･茶山中通りの美装化の検討	目　標	(　　)	—	(基本構想の検討)	(　　)	(　　)
	実　績		—	基本構想の策定		
･風景街なみ形成に資する建築技術の提案	目　標	(　　)	—	(基準案に基づく技術提案)	(　　)	(　　)
	実　績		—	基準案に基づく技術提案		
･古民家の実態調査と活用方法の検討	目　標	(　　)	—	(調査、検討)	(　　)	(　　)
	実　績		—	調査、検討		

進捗状況説明
- ･ｶｰﾐｰｼﾞｰ･港川周辺地区の海浜公園計画地において、景観重要公共施設指定に向けた整備方針等案を策定した。
- ･都市モノ沿線(グスク周辺地区)地区における景観形成の基本方針案を策定した。
- ･景観向上行動計画を策定した。
- ･茶山中通りの美装化計画について基本構想を策定した。
- ･景観形成基準案に基づく技術提案をまとめた。
- ･市内の古民家の実態調査を行い、古民家の定義付けから利活用法の検討を行った。

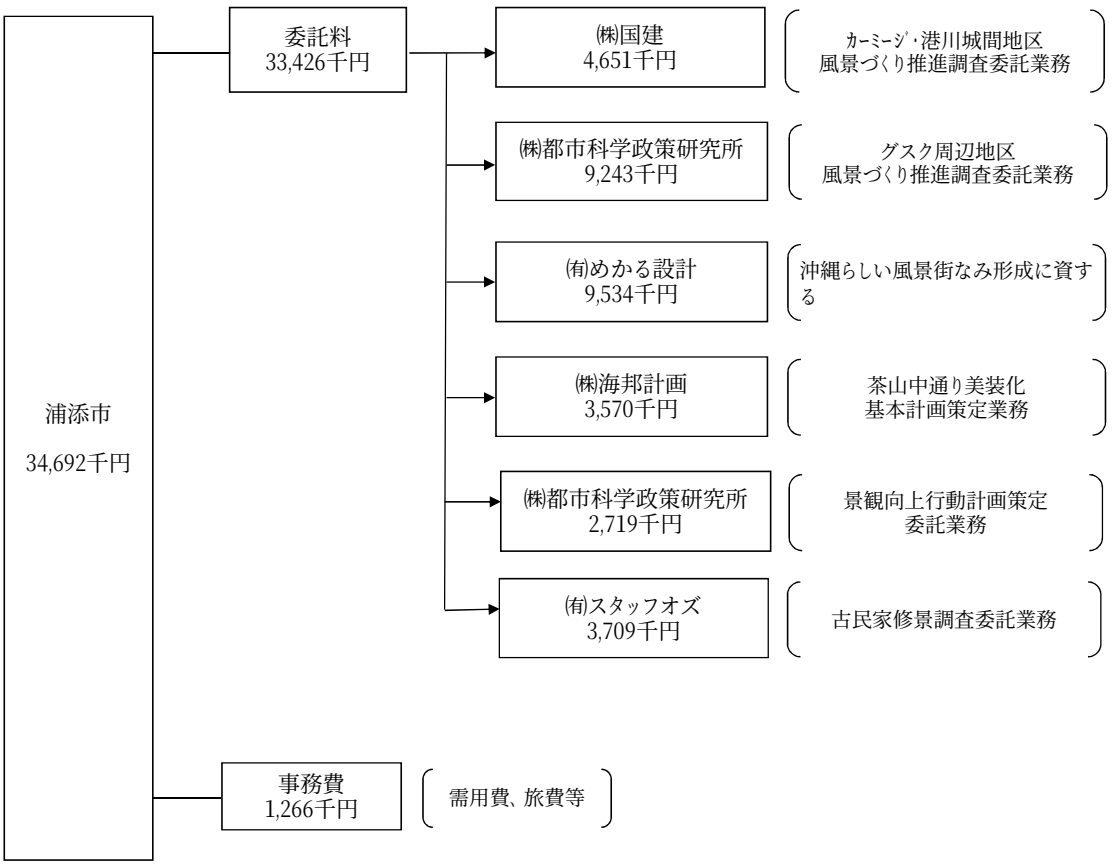
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・まちづくりのルールをづくりには、住民との合意形成が必要不可欠であり、それには根気強く長い話し合いが必要である。 ・まちづくりの将来像と方針を定め、市民、企業、行政の協働による沖縄らしい風景づくりの形成を推進するにしても、財政的な制約があるため長期的な協働体制が必要になり、それは外部環境（市民ニーズ）の変化をもたらすものでもある。 ・地域住民との協働により景観形成の基準を設け、沖縄らしい風景づくりやまちづくりを行うためには、さらに協働作業が必要であり、十分な時間をかけた取り組みが必要となる。 ・市全域を視野に入れた新たな観光資源を含めた地域景観資源を発掘し、地域振興振興を目指すには、少しずつでも前進する継続した風景づくりの推進施策が必要である。	・交付金を活用し民間への助成制度を活用し、地域全体の公益性のある景観の形成を図る。 ・交付金を活用し基盤整備を重点的に行うことにより、地域住民の理解がさらに得られやすくなる。住民は地元に愛着と誇りを持ち、協働によるより良いまちづくりが進められる。 ・沖縄らしい風景が効率良く形成され、観光振興にもつながる。

今後の取り組み方針

・この交付金をさらに活用して住民、企業、行政の協働作業による風景まちづくりを推進していく。
・今後も市全域を視野にいれ、様々な景観資源を発掘・保全し、新たな魅力の創造に取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
34,692	34,692	27,754	6,938	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は競争入札により決定した。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	２－②	浦添グスク周辺緑化推進事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	３章－１－(6)－ア 価値創造まちづくり
担当部課名	美らまち推進課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－(2)
事業内容	沖縄らしい景観を形成するため、市民と協同で茶山地区の緑地保全や浦添グスク周辺の風景づくりを行う。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	13,681	14,350			
	(b)予算現額	13,681	14,350			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	－			
	A. 計(b+d)	13,681	14,350			
B. 執行済額		13,681	14,350			
うち交付金充当額		10,945	11,480			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		前年度工事に引続き、本年度計画分の緑化ブロック設置工事を行い、計画どおり予算執行することができた。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
茶山緑地整備面積　403㎡	目　標	(　107㎡　)	(　403㎡　)	(　　)	(　　)
	実　績	107㎡	494㎡		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				
達成状況説明	浦添グスク周辺の風景づくりを行うため、緑地整備を行った。 目標とおりの整備が達成できた。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(25年度)
茶山緑地整備面積　403㎡	目　標	(　－　)	(　107㎡　)	(　403㎡　)	(　　)	(　403㎡　)
	実　績		107㎡	494㎡		
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					
進捗状況説明	前年度の整備に引き続き残り４９４㎡の整備を完了したことで、緑地の保全が図られた。					

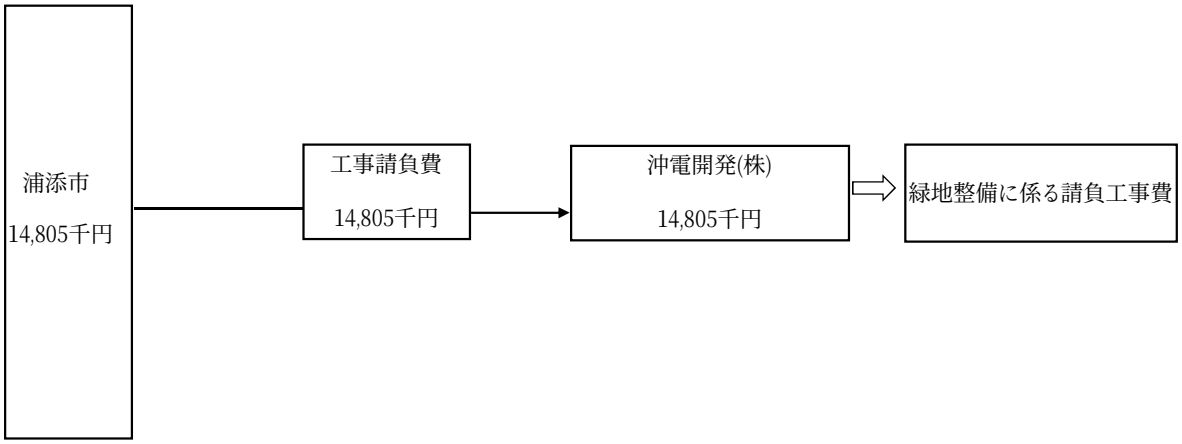
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	前年度に引き続き本年度整備面積494㎡が完了したことで、ウラオソイ風景づくりがさらに推進されたが、今後も継続して事業を進めることが地域住民への良好な景観形成に対する意識の高揚を図り愛着と誇りを高めることにつながる。 また、地域の歴史資源の保全・再生、活用することが必要と考える。	公共事業の率先した風景づくりの取り組みを継続することにより、地域住民の自主的な風景づくりへの意識高揚につながり、愛着と誇りを高め協働の風景まちづくりの向上につながると考える。

今後の取り組み方針

緑地保全整備が事了したことで、周りにある琉球松やふく木なども含め、沖縄らしい景観を形成する茶山地区の緑地保全や浦添グスク周辺の風景づくりの一部が達成された。
一括交付金をさらに活用したウラオソイ風景づくりを推進することにより、地域住民の合意形成をふまえた協働の風景づくりに取り組んでいく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
14,805	14,350	11,480	2,870	455



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者及び請負業者は指名入札で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-③	地域資源復元推進事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章-1-⑹-ア 価値創造のまちづくり
担当部課名	文化部　文化課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-⑴

事業内容

歴史的景観の再生を図るため、中頭方西海道石畳舗装整備工事の実施、及び「安波茶樋川」を復元整備するための実施設計を行う。また、沖縄らしい風景づくりの効果的な推進を図るためクバサーヌ御嶽の発掘調査及び復元整備の実施設計業務委託を実施する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	72,118	63,697			
	(b)予算現額	4,876	63,697			
	(c)増減額(b-a)	▲ 67,242	0			
	(d)繰越額	0	0			
	A. 計(b+d)	4,876	63,697			
B. 執行済額		4,876	59,083			
うち交付金充当額		3,848	47,267			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	92.8%			
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
安波茶樋川復元整備	目　標	（発掘調査1件）	（実施設計1件）	（　）	（　）
	実　績	発掘調査1件	実施設計1件		
クバサーヌ御嶽復元整備	目　標	（　）	（発掘調査1件 実施設計1件）	（　）	（　）
	実　績		発掘調査1件 実施設計1件		
中頭方西海道ルート石畳舗装	目　標	（　）	（舗装長400m）	（　）	（　）
	実　績		舗装長400m		

達成状況説明

クバサーヌ御嶽の復元整備に向けた発掘調査を行った。また、安波茶樋川･クバサーヌ御嶽復元整備に向けた実施設計を行った。その他、中頭方西海道石畳舗装整備工事を実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
安波茶樋川･クバサーヌ御嶽発掘調査件数 安波茶樋川･クバサーヌ御嶽実施設計件数 中頭方西海道石畳舗装長	目　標	0件 0件 0m	1件 0件 0m	1件 1件 400m	（　）	（　）
	実　績		1件 0件 0m	1件 1件 400m		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

･安波茶樋川･クバサーヌ御嶽の発掘件数と実施設計件数ともに目標を達成することができた。
･平成25年度の中頭方西海道石畳舗装長も目標を達成することができた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	安波茶樋川：谷底地形の最低面に位置するため、文化財的景観に配慮した法面保護が必要である。 クバサーヌ御嶽：石組遺構の天井部の壁に対する掛かりが少なく、天井が落下する可能性がある。 中頭方西海道石畳舗装：歴史の道である中頭方西海道の石畳舗装工事は今後も続けていくが、今後の施工予定地の一部に周辺に所在する住宅に迂回路が無い箇所がある。	安波茶樋川：他の文化財の事例を参考にする。 クバサーヌ御嶽：景観に与える影響の少ない工法を選択する。 中頭方西海道石畳舗装：周辺住民に影響を与えないよう配慮する。

今後の取り組み方針

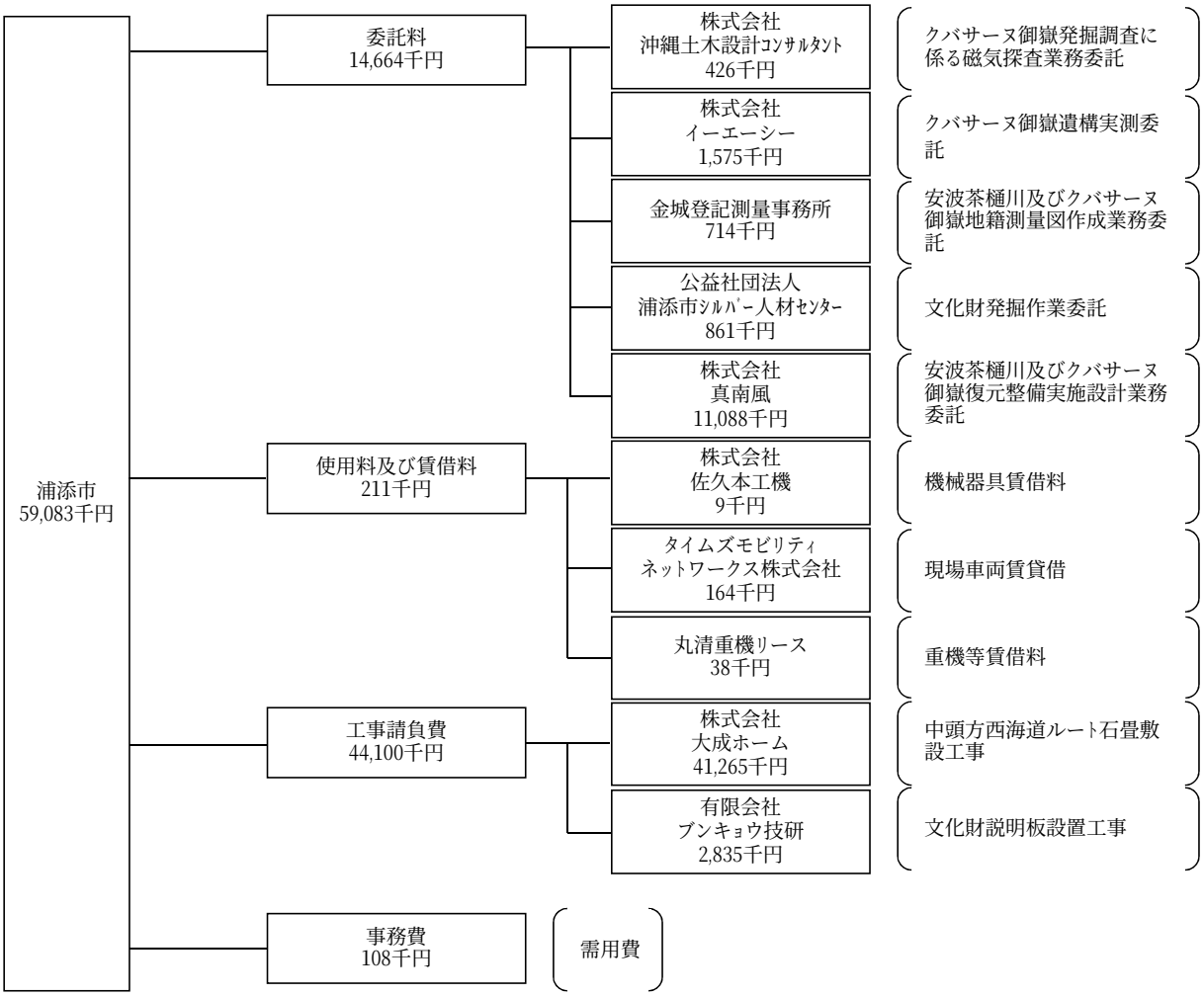
安波茶樋川：法面に対しては補強筋を差し込むことにより保護を行う。

クバサーヌ御嶽：天井と壁の間に補強材を入れて施工を行う。

中頭方西海道石畳舗装：施工時には周辺住民に影響の少ないスケジュールを組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
59,083	59,083	47,267	11,816	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	地方自治法施行令及び浦添市契約規則に則り執行しており、妥当であったと考えている。 公益社団法人浦添市ｼﾙﾊﾞｰ人材ｾﾝﾀｰとの契約は、地方自治法施行令第１６７条の２第１項第３号に基づき随意契約により執行しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-④	前田トンネル周辺修景事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章-1-⑹-ア
					沖縄らしい風景づくり
担当部課名	都市建設部　区画整理課	事業実施(予定)年度	平成24年度～平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-⑴

事業内容	沖縄らしい風景や景観を守るため、前田トンネルの両側にそびえるコンクリート壁のレリーフや壁面緑化等、一体的な修景保存を行う。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	5,000	25,000			
	(b)予算現額	5,000	25,000			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	0			
	A．計(b+d)	5,000	25,000			
B．執行済額		5,000	25,000			
うち交付金充当額		4,000	20,000			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		平成25年度は、工事費として全額執行した。(精算時に生じた11千円は単費対応。)				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
修景及び緑化工事の実施	目　標	（実施計画策定）	（緑化工事）	（　）	（　）
	実　績	実施計画策定	緑化工事		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：実施計画に基づき、コンクリート壁に修景及び緑化工事を行った。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)
修景及び緑化工事の実施	目　標	（　）	（実施計画策定）	（緑化面積650㎡）	（　）	（緑化面積1400㎡）
	実　績		実施計画策定	緑化面積540㎡		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：実施計画に基づき、コンクリート壁(下部)６５０㎡のうち、５４０㎡の緑化を行った。終わった部分に関しては、コンクリート壁(上部)までしっかり根付くよう、維持管理を徹底していく。一部、モノレール工事との取り合いで、施工できなかった箇所があるため、モノレール工事の進捗に合わせて、今後施工していく。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①　コンクリート壁の緑化を行っていく際に、一部モノレール工事と時期が重なってしまい、H25年度で実施できていない。 ②　ポケットパークについてもモノレール駅の自由通路詳細設計が終わっていないため、実施できていない。 ③　緑化を行った部分については、順調に育成している。	①　一部施工できていない部分については、モノレール工事の進捗（H27年まで施工予定）に合わせて、H28年度以降に予定している。 ②　ポケットパークについては、今年度、自由通路の詳細設計が終わる予定なので、一部施工できていない部分と合わせてH28年度以降に実施してきたい。 ③　緑化が終わった部分については、壁面緑化が順調に進むよう、今後も維持管理を徹底していく。

今後の取り組み方針

今後モノレールの進捗と合わせながら、H28年度を目安に実施を予定し、緑化が終わった部分については維持管理を徹底していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
25,011	25,000	20,000	5,000	11

浦添市
25，011千円
→
工事請負費
25，011千円
→
(株)大修建設
25，011千円
（緑化及びレリーフ工事（植栽・塗装））

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	指名競争入札により執行しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2－⑤	浦添グスクの城下まちにふさわしい道路美装化事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－１－（６）－ア 価値創造のまちづくり
担当部課名	都市建設部　道路課	事業実施（予定）年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)

事業内容

浦添グスクの城下まちにふさわしい道路景観を創出するため、浦添グスクの麓に位置し、歴史･文化の拠点である仲間地区の主要な市道について、コーラル舗装をイメージした「カラーアスファルト舗装」を施す。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	35,000	34,000			
	(b)予算現額	35,000	34,000			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	0			
	A．計(b+d)	35,000	34,000			
B．執行済額		35,000	34,000			
うち交付金充当額		28,000	27,200			
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%			

予算の状況の説明：平成２５年度は、工事費･委託費としてすべて執行した。

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
仲間地区主要道路のカラーアスファルト舗装: 2,475 ㎡	目　標	(　2,660㎡　)	(　2,475㎡　)	(　　)	(　　)
	実　績	2,660㎡	2,028㎡		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				

達成状況説明：資材単価の高騰により、目標を下回った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（25年度）
仲間地区主要道路のカラーアスファルト舗装: 2,475 ㎡	目　標	(　-　)	(　2,660㎡　)	(　2,475㎡　)	(　　)	(　5,135㎡　)
	実　績		2,660㎡	2,028㎡		
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

進捗状況説明：資材単価の高騰により、目標を下回った。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	歴史・文化の拠点である仲間地区の主要な道路について、コーラル舗装をイメージした「カラーアスファルト舗装」を施すためには、整備スケジュール、整備箇所等を地域自治会と調整しながら、浦添グスクの城下まちにふさわしい道路景観を創出し拡充を図ることが必要である。	・交付金を活用し基盤整備を重点的に行うことにより、地域住民の理解がさらに得られやすくなる。住民は地元に愛着と誇りを持ち、協働によるより良いまちづくりが進められる。 ・沖縄らしい風景が効率良く形成され、観光振興にもつながる。

今後の取り組み方針

ウラオソイ風景づくりを推進していくため、浦添グスクの城下町という地域特性、歴史的・文化的な地域景観資源（地域の魅力）を保全・再生、活用しながら、道路美装化等の景観修景を行ない、地域住民（自治会・地権者）への良好な景観形成に対する意識の高揚を図りつつ、地元への愛着と誇りを高め、来訪者の利活用の向上も図る。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
34,000	34,000	27,200	6,800	0

浦添市
34,000千円
（注）市町村における決算ベース（「交付金」＋「市町村負担」）で額を記載してください。

→ 委託請負費 78千円 → 一般財団法人　経済調査会 沖縄支部 78千円（資材単価特別調査業務委託）

→ 工事請負費 33,922千円 → 株式会社三和建設工業 33,922千円（仲間地区散策路整備工事）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は地方自治法施工令・浦添市契約規則に基づき随意契約により執行しており、妥当であったと考えている。 ○工事事業者は指名競争入札により執行しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	３－①	悠々ロマン漆に出会うまち浦添推進事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章３－(2)－ア 国際的な沖縄観光ブランドの確立
担当部課名	文化部浦添市美術館	事業実施(予定)年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－(1)

事業内容

琉球漆器の歴史や文化、アジアの美を紹介し観光振興に資するため、浦添市美術館で琉球漆器に関連した企画展の開催及び常設展の充実を図る。また、体験教室の実施や、漆器使用体験などの委託事業を行なう。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	31,559	28,394			
	(b)予算現額	28,659	28,394			
	(c)増減額(b-a)	▲ 2,900	0			
	(d)繰越額	－	0			
	A. 計(b+d)	28,659	28,394			
B. 執行済額		26,355	23,994			
うち交付金充当額		21,083	19,195			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		92.0%	84.5%			

予算の状況の説明：不要額の4,400千円については、主に入札残によるものであり、予定していた事業は全て実施した他、事業内容を鑑み執行は適正であったと考える。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
近代沖縄の美術工芸展開催	目　標	（企画展開催）	（美術工芸展の開催）	（　）	（　）
	実　績	企画展開催	「日本伝統漆芸展」「南への風-近代沖縄の美術・工芸－」展開催		
企画展関連講座の実施5回	目　標		（企画展関連講座の実施5回）	（　）	（　）
	実　績		講座を5回開催		
観光客誘致のための広告宣伝事業の実施	目　標		（広告宣伝事業の実施）	（　）	（　）
	実　績		広告宣伝事業を委託により実施		
収蔵品及び常設展の充実	目　標	（充実を図る）	（充実を図る）	（　）	（　）
	実　績	収蔵品及び常設展を充実させた	収蔵品及び常設展を充実させた		

達成状況説明
- 日本伝統漆芸展と沖縄の工芸に関する企画展を開催した。
- 企画展関連連続講座を5回開催した。
- 広告宣伝事業委託を行い、モノレールポスター掲示やホテルでの館紹介DVD放映などを実施
- 作品を購入し展示に活用、常設展の充実を図った。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(28年度)
美術館来館者数	目　標	（94,352人）	（50,000人）	（100,000人）	（　）	（累計500,000人）
	実　績		58,668人	72,192人		
常設展観覧者数	目　標	（1,940人）	（2,000人）	（2,200人）	（　）	（　）
	実　績		2,139人	3,335人		

進捗状況説明：美術館来館者数は、当初多数の入館者を見込んでいた共催事業(マスコミ主催の企画展)や自主企画展の来館者数が伸びず、年間入館者数の目標に届かなかった。一方常設展は、観光客や地元の児童生徒の来館が増え、目標を大きく上回った。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・美術館来館者について、25年度の目標には届かなかった。しかし、常設展観覧者数は、目標を大きく上回った。 ・堆錦体験教室は首里城で開催したものの、首里城の観光客のニーズにあわなかったのか、体験者数は思ったほど伸びなかった。今後の開催場所の検討が必要である。 ・広報宣伝で実施したラッピングバスは注目度が高く、反響もあった。	・美術館来館者数を増加させるために、一般来館者の関心を引くような企画展の開催を検討する必要がある。 ・観光客向けの広報方法をさらに検討する必要がある。

今後の取り組み方針

・常設展に関して、国外観光客向けパンフレットの作成や、学校への見学の呼びかけなどを強化していきたい。そのためにも修学旅行や事前学習に対応できるカリキュラム作成を検討し実施していきたい。
・美術館来館者数を増やすため、漆や工芸だけでく、幅広い層に関心をもってもらえるよう様々なジャンルの企画展を計画的に実施したい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
23,994	23,994	19,195	4,799	0

- 浦添市 23,994千円
  - 事務費 1668千円（報償費・消耗品費・旅費・印刷製本費）
  - 賃借料 303千円
    - 日本美術著作権協会 123千円（写真等使用料）
    - 日本民藝館 122千円（作品賃借料）
    - てだこホール他 58千円（会場賃借用など）
  - 委託料 16,224千円
    - 琉球物流株式会社 5,504千円（展覧会作品運搬展示委託）
    - 目白漆芸文化財研究所 1159千円（作品修復委託）
    - 琉球漆工藝舎 337千円（作品修復委託）
    - ハマ木工 200千円（作品保管用桐箱作成委託）
    - 文進印刷 1984千円（展覧会印刷物製作委託）
    - ちとせ印刷 110千円（催事広報印刷物製作委託）
    - アカネクリエーション 4210千円（広報宣伝業務委託）
    - ㈱琉球広報 330千円（展覧会看板製作委託）
    - ㈱尚生堂 20千円（常設展看板製作委託）
    - 文進印刷 10千円（展示用写真パネル製作委託）
    - NPO浦添市美術館友の会 671千円（監視業務委託料）
    - NPO浦添市美術館友の会 698千円（漆器使用体験事業委託料）
    - コシマ漆工芸 189千円（体験教室事業委託料）
    - ㈱沖縄コングレ 802千円（音声ガイド録音委託）
  - 備品購入費 5,799千円
    - 日本アメニティサプライ 他 215千円（作品・資料購入）
    - 観宝堂 4,724千円（作品購入）
    - 漆器作品蒐集家 860千円（作品購入）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先は入札やプロポーザル方式、競争見積などにより事業者を決定しており、妥当であると考える。 ・堆錦体験教室、漆の器でおもてなし（料理講習会）などは参加者より材料費を徴収しており、受益者負担にのっとり妥当であると考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	３-②	9月3日踊り観光･文化振興事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章-３-(2)-ア 国際的な沖縄観光ブランドの確立
担当部課名	市民部商工産業課	事業実施(予定)年度	平成24年～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－(1)

事業内容

沖縄に古くから伝わる「組踊」は、世界文化遺産として認定されており、その組踊を絡めたイベント及び鑑賞機会を設け、国立劇場おきなわを拠点に戦略的観光振興を展開するとともに文化振興を行う。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	29,568	30,000			
	(b)予算現額	29,568	30,000			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	0	0			
	A. 計(b+d)	29,568	30,000			
B. 執行済額		19,189	27,916			
うち交付金充当額		15,351	22,332			
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		64.9%	93.1%			

予算の状況の説明：不要額が2,084千円発生しているが、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
組踊りまつり等のイベント3回開催	目　標	(　5回　)	(　3回　)	(　)	(　)
	実　績	5回	2回		
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明：今回の事業においては組踊まつり事業、プロ野球ファン組踊鑑賞事業を実施した。組踊まつり事業については、集客の拡大を目指して期間を拡大した。また、相乗効果的な集客を図るため、「世界エイサー大会」と連携して事業を実施した。また、組踊まつり内において、浦添市内で活動する芸能団体が実演し、浦添の芸能の披露、観光客への認知、紹介の場として実施した。プロ野球ファン組踊鑑賞事業については、組踊の鑑賞機会の拡大を図るため、「シネマ組踊　二童敵討」を制作した。制作した組踊を、東京ヤクルトスワローズキャンプに来場した方々を中心に、てだこホールにて2月の週末、1日2回の6日間、上映会を実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
イベント参加人数　1,500人	目　標	(　)	(　2,000人　)	(　1,500人　)	(　)	(　)
	実　績		2,020人	2,272人		
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明：「組踊まつり事業」･･･1,251人、「プロ野球ファン組踊鑑賞事業」･･･1,121人、合計2,272人のイベント参加人数となった。

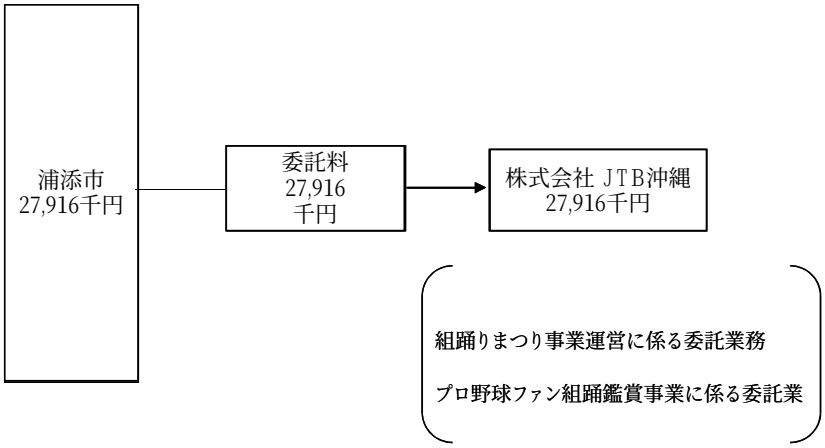
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・イベント参加人数の目標は達成したが、組踊を観光資源として確立するため、より多くの方に鑑賞機会を提供し、組踊の認知度を高めていく必要がある。 ・組踊りまつり事業内で、自治会で行われている伝統芸能を紹介するという形態をとり、組踊りムラアシビー事業を統合して行ったため、イベント実施回数が2回となった。	・制作した「シネマ組踊」の上映機会を増やし、地元沖縄県民への鑑賞機会だけではなく、県外・海外からの観光客への鑑賞機会も拡大する。

今後の取り組み方針

沖縄県民への鑑賞機会だけではなく、県外・海外からの観光客への鑑賞機会も拡大するため、組踊まつり等のイベント3回開催、イベント参加人数　2000人を目標に実施する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
27,916	27,916	22,332	5,584	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途について、事業目的達成の観点から必要なものなのか、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-①	浦添「よりみち」観光振興事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-イ 県産品の販路拡大と地域ブランドの形成
担当部課名	市民部　商工産業課	事業実施(予定)年度	平成24年～平成28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-⑴

事業内容

琉球王統発祥の地であり、文化的施設、県内有数の製造業、西海岸に広がる自然の海岸線、市特産品など様々な「魅力」を活用しつつ、体験型観光にみられるような「観光客ニーズ」に沿って観光商品を開発。併せてヤクルトキャンプ地を活かした観光誘客事業、市産品展示販売と観光展等のイベントを実施し、「うらそえ」の認知度向上を図る。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	33,089	35,360			
	(b)予算現額	33,089	35,360			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	―	0			
	A. 計(b+d)	33,089	35,360			
B. 執行済額		23,117	28,091			
うち交付金充当額		18,494	22,473			
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		69.9%	79.4%			

予算の状況の説明：当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況に鑑みて適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
既存観光資源発掘と磨き上げ及び紹介	目　標	(-)	(1)	( )	( )
	実　績		1		
新たな観光商品の開発を委託	目　標	(-)	(1)	( )	( )
	実　績		1		
観光商品の事業所向け提案	目　標	(-)	(1)	( )	( )
	実　績		0		

達成状況説明：前年度に開発した着地型観光商品「まちあるきメニュー」の磨き上げを行うため3回のワークショップを開催し、新たな商品を1つ開発することができた。また、これらメニュー(観光商品)の事業所向け提案(販売等)については、本市への誘客スキームが完成していない状況では困難であるため次回の課題とした。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(28年度)
既存観光資源発掘と磨き上げ及び紹介	目　標	(-)	(-)	(1)	( )	( )
	実　績			1		
新たな観光商品の開発を委託	目　標	( )	(-)	(1)	( )	( )
	実　績			1		
観光商品の事業所向け提案	目　標	( )	(-)	(1)	( )	( )
	実　績			0		
【参考指標】	目　標	( )	( )	( )	( )	( )
	実　績					

進捗状況説明：既存観光資源発掘と磨き上げ及び紹介について「まちあるきメニュー」を開発し、これまで本市には無かった観光商品を完成させたが、誘客スキーム無しにはこれら商品は活かせないため、次年度においては誘客の実証実験を行っていきたい。また、実証実験と平行して「まちあるきメニュー」を事業所(旅行会社等)へ提案して、本市へと「よりみち」させるための観光商品として確立していく。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	琉球王統発祥の地というキーワードから開発した「まちあるき」観光商品は、概ね予定どおり開発することができた。しかし、今後これらを推し進めていくためには①実施体制の確立、②予算の確保、③新コースの追加、④市民ガイドの育成等の問題がある。また、「まちあるき」商品を利活用するには、実際に観光客を誘客するスキームが必要不可欠となるため、今後はモニタリングツアー等で実証実験を重ねて観光商品としての価値を検証していきたい。	①実施体制の確立については、販売・受付等の窓口とガイド担当窓口の組織が異なるため、連携強化を図らなければならない。②先進自治体の例によれば、まちあるき事業のみで採算性を確保することは困難であるため、継続実施に向けての予算確保方法を検討しなければならない。③受入側都合のコースだけでなく、来訪者のニーズに沿った新たなコース開発も取り組む必要がある。④ガイドは直接観光客と触れ合うため、接客や金銭受領等への配慮や信頼が必要であり、市民ガイド育成方法を検討する必要がある。

今後の取組み方針

平24年度から2年間かけて開発してきた「まちあるき」という着地型観光商品の利活用について、他事業の「まるごと情報発信事業」との連携により誘客スキームの実証実験を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
28,091	28,091	22,473	5,618	0

浦 添 市

↓

浦 添 市 観 光 協 会
2,8091千円

（浦添の物産と観光展事業
着地型観光商品開発事業
ヤクルトファン浦添にめんそーれ事業）

資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	本市の観光関連事業に携わり、観光振興に資する団体である浦添市観光協会への委託は妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-②	来て･見て･楽しい”まるごと浦添”観光情報発信事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章-３－(9)－イ 県産品の販路拡大と地域ブランドの形成
担当部課名	市民部商工産業課	事業実施(予定)年度	平成24年～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－(1)

事業内容	グルメ、アート、スポーツなど観光情報を一元的に発信するため、ポータルサイトを構築する。また、観光客の利便性を高めるため、モバイル･ソフトの開発等を行う。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	30,037	30,037			
	(b)予算現額	30,037	30,037			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－				
	A．計(b+d)	30,037	30,037			
B．執行済額		30,024	29,968			
うち交付金充当額		24,019	23,974			
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%	99.8%			

予算の状況の説明：･当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
観光ポータルサイト開発	目　標	(　)	(1件)	(　)	(　)
	実　績		1件		
観光用モバイル･アプリ開発	目　標	(　)	(1件)	(　)	(　)
	実　績		1件		
観光情報の編纂･発信	目　標	(　)	(1件)	(　)	(　)
	実　績		1件		

達成状況説明：利用者の利便性を考慮し、iOS、Androidを搭載したスマートフォンをターゲットに位置情報取得やWi-Fiの機能を活かし、リアルタイムでの情報発信が可能になるようサイトを構築した。また、Android携帯向けのアプリを開発し、Android携帯利用者にも情報発信を図れるようになった。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
観光ポータルサイト開発	目　標			1件		
	実　績			1件		
観光用モバイル･アプリ開発	目　標			1件		
	実　績			1件		
観光情報の編纂･発信	目　標			1件		
	実　績			1件		

進捗状況説明：うらそえナビの裏サイト「うらぞえナビ」を作成し、うらそえナビへの誘導を図った結果、ページビュー数、訪問者数ともに目標を達成した。また、市内回遊強化･誘客を促進するため、「うらそえスイーツフェスタ2013」を開催し、460名を集客した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	観光ポータルサイトへの訪問者およびページビューはうらそえナビ訪問者数　目標75,000人　実績103,374人、ページビュー　225,000ＰＶ　実績262,080ＰＶ となっている。掲載ページ単位のページビューを分析し、当市観光コンテンツとして強みを有する「ヤクルトキャンプ」、「キャンプキンザーフェスタ」、「てだこまつり」、「スイーツフェスタ」、「組踊まつり」、「経塚のイルミネーション」を特定できた。 市内回遊強化・誘客促進のため開催した「うらそえスイーツフェスタ2013」においては、予測を上回る来場者数を集め、観光コンテンツ化に向けて、知名度向上を図ることができた。	効率の更なる向上の視点としては、情報発信をさらに強化するため、うらそえナビの機能の充実、スマートフォン向けダウンロード数の増加を実現する施策の立案・実施をしていく必要がある。また、発信するコンテンツを充実させるために、関係機関の連携を強化する必要がある。

今後の取り組み方針

うらそえナビの更なる情報発信の充実・強化に向けて、システム機能面等の充実を図る。
市内回遊強化・誘客促進を図るため、「うらそえスイーツ」の観光コンテンツ化に向け、必要な人材の育成、組織強化を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
29,968	29,968	23,974	5,994	0

浦添市

↓

委託料
29,968千円

（観光ポータルサイト等の開発にかかる委託業務）

↓

株式会社おきぎんエス・ピー・オー・株式会社海邦総研・株式会社近代美術　共同企業体
29,968千円

（観光ポータルサイト等の開発にかかる委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は公募型プロポーザル方式により、観光コンテンツ作成・ポータルサイト構築に関する企画内容、観光産業及びソフトウェア開発に関しての知見等を備えていると判断した上で選定している。費目・使途について、業務目的に即しており支出額も妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	４－③	ここにおいでよ　浦添タウン事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章-３－(9)－イ 県産品の販路拡大と地域ブランドの形成
担当部課名	市民部商工産業課	事業実施(予定)年度	平成24年～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－(1)
事業内容	市内への観光誘客を図るため、各商店街や通り会でのイベント開催、観光ルートの美化･緑化等に取り組む。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	4,000	4,000			
	(b)予算現額	4,000	4,000			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－				
	A．計(b+d)	4,000	4,000			
B．執行済額		2,878	2,455			
うち交付金充当額		2,302	1,964			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		72.0%	61.4%			
予算の状況の説明		･不要額が1,545千円発生しているが、参加した通り会等が学園通り会のみとなり予算額に不用がでた。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
市域誘客イベントの４回開催	目　標	(　4回　)	(　4回　)	(　　)	(　　)
	実　績	1回	1回		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				

達成状況説明：東京ヤクルトスワローズ春季キャンプに訪れた県外観光客を、学園通り会内の店舗に誘引することを目的に「プロ野球ぬりえながさわたかひろ展」を学園通り内、ギャラリー店舗にて行った。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
市域誘客イベント参加人数	目　標	(　　)	(　600人　)	(　1200人　)	(　　)	(　　)
	実　績		125人	222人		
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

進捗状況説明：市域誘客イベント、ギャラリースタンプラリーの参加者は222人であった。
目標を下回った理由として、①複数団体等が本事業に参加すると想定していたが、1通り会のみの参加になったこと、②そのため事業期間が想定よりも短期間になったことが考えられる。

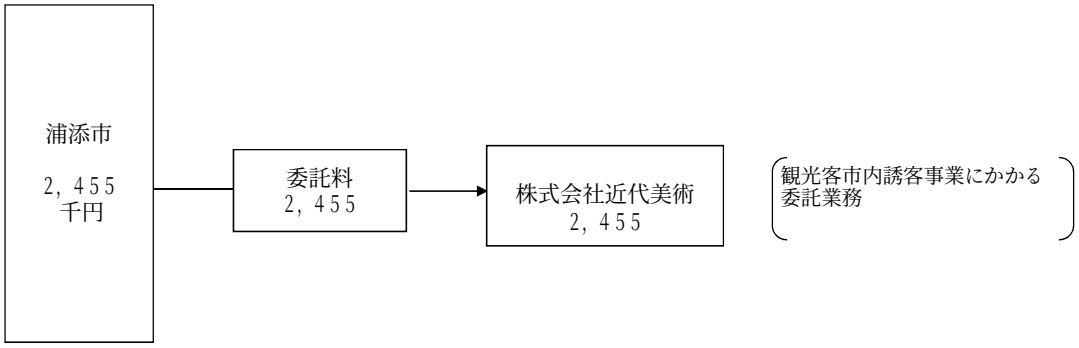
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・大型観光施設や宿泊施設が市内に存在しない当市では、市内に訪れた観光客をいかに市内店舗に誘引し回遊させるかが課題であった。また、各通り会等からも誘引し、回遊させる仕組みが欲しいとの要望があった。	・今回は、学園通り会のみの参加となったため、ヤクルトスワローズキャンプに訪れた県外客を対象とした事業になったが、他の通り会等が実施している祭りや市が実施する様々なイベントとも連携し、年間を通して観光客を市内に誘引、回遊させる仕組みを検討する

今後の取り組み方針

事業効果を上げるため、他の通り会等が実施している祭りや市の実施するてだこまつり他、様々なイベントとも連携し、1年間を通して観光客を市内に誘引、回遊させる仕組みの構築を目指していたが、効果的な仕組みを構築できなかったこと、通り会等の事業実施体制が脆弱であったことから、2年連続して目標を下回ったため、次年度は事業廃止を含めて検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,455	2,455	1,964	491	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により、企業組織、実績等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	４－④	浦添生まれの絹が彩る観光特産品ブランド強化事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章-３－(9)－イ 県産品の販路拡大と地域ブランドの形成
担当部課名	市民部商工産業課	事業実施(予定)年度	平成24年～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－(1)

事業内容

「うらそえ織」の観光特産品としてのブランド力を強化するため、広報活動、販売促進活動等を実施する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	6,069	14,208			
	(b)予算現額	6,069	14,348			
	(c)増減額(b-a)	0	140			
	(d)繰越額	―	-			
	A．計(b+d)	6,069	14,348			
B．執行済額		2,565	11,487			
うち交付金充当額		2,051	9,189			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		42.3%	80.1%			

予算の状況の説明：平成24年度は、年度中途からの事業開始であったが、平成25年度は通年で事業を行うため予算増。不用額が約286万円発生しているが、事業途中で人員を確保することが困難となり、人件費未執行となったことが主な要因である。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
うらそえ織の広報活動2回、展示販売会10回。	目　標	(　2回　)	(　12回　)	(　　)	(　　)
	実　績	12回	14回		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				

達成状況説明：販売会10回及びラジオ･テレビ、チラシ等による広報活動4回実施し目標は達成できた。その他、施設来場者へのPR、通販カタログとの商談を実施したこで、次年度の県外販路開拓への足がかりができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
うらそえ織売上額	目　標	(　9,910千円)	(　17,000千円)	(　23,690千円)	(　　)	(　34,620千円)
	実　績		15,457千円	12,928千円		
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

進捗状況説明：売り上げが、昨年より減ったのは、事業途中で、離職者が出たため。代替要員としての人員が確保できず、年度途中から十分な活動ができなかったことが要因。
全国紙の通販カタログとの商談を実施したが、在庫不足および生産が追いつくかどうかの不安要素等があり今年度は掲載を見送った。
しかし、県外向けへ販路開拓として、ネット販売等を検討しており、次年度は県外販路の拡大が見込める。
展示会においては「うらそえ織」5周年を記念した感謝セールに特に力をいれ、その会は、売り上げが通常よりもあがった。

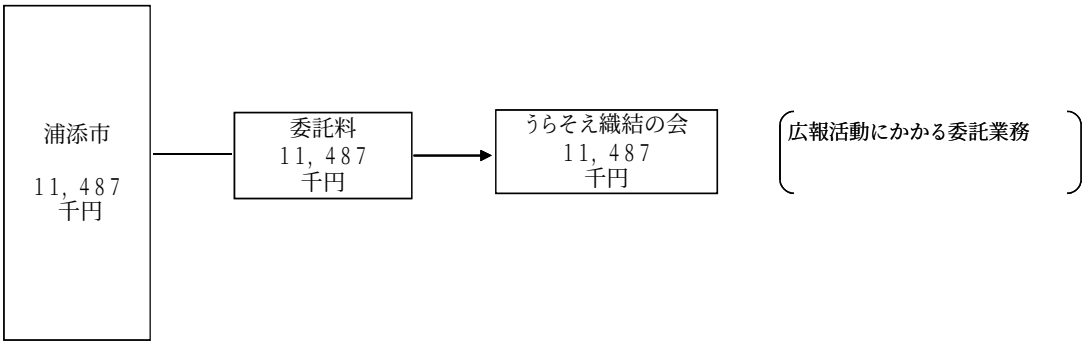
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	「うらそえ織」産業化に向け、本格的に取り組むため、新たな組織「うらそえ織協同組合等設立準備会」（以下、「準備会」という）を設立した。今後はこの「準備会」による「うらそえ織」産業化の支援として、引き続き、ブランド強化及び販路拡大を目指す。	販路拡大の足がかりはできているので、確実に広めていく必要がある。また、認知度も徐々に上がってきている。さらに効果的な広報を行うため、他の観光事業やイベント、事業者等と連携を図っていくことが求められる。

今後の取り組み方針

イベントや広報活動を関連する観光事業や物産販売業者と連携して、イベント等への参加数を増やすことで、商品の露出を増やし、より効果的な広報に取り組む。
「うらそえ織」に興味を持ってもらうきっかけ作り」として、体験イベントや、市内公共施設等にうらそえ織の機織機の貸し出しなどを実施したい。
これまで、全工程手作業がコンセプトの高価な商品が主流となっていたが、一部機械を使用したり、うらそえ織をポイント使いとするような商品を開発し、買い求め易いリーズナブルな商品で、売り上げ増につなげていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
11,487	11,487	9,189	2,298	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-⑤	浦添特産品の県外･国外への販路拡大事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章-３－(9)－イ 県産品の販路拡大と地域ブランドの形成
担当部課名	市民部商工産業課	事業実施(予定)年度	平成24年～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－(1)
事業内容	生産地「うらそえ」をアピールし、特産品の知名度向上及び販路拡大を図るため、県外や国外で開催される見本市や物産展等へ市の特産品等を出展する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	12,818	9,000			
	(b)予算現額	12,818	9,000			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－				
	A．計(b+d)	12,818	9,000			
B．執行済額		9,817	4,692			
うち交付金充当額		7,853	3,753			
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		76.6%	52.1%			

予算の状況の説明：･不要額が4,308千円発生しているが、参加業者が予定よりも集まらなかったため、生じたものである。予算執行については、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
県外物産展等のイベント参加　4回	目　標	(　中止　)	(　4回　)	(　)	(　)
	実　績	中止	5回		
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明：･中部地域では、セントレア空港で開催された「南国物産展inセントレア」、関東地域では、株式会社　沖縄物産企業連合の直営店である「沖縄宝島」のららぽーと横浜店、新宿京王店、ぽっぽ町田店、関西地域では株式会社　沖縄物産企業連合の「ちゅらり」での物産展に参加した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
県外物産展等のイベント参加企業　４０社	目　標	(　)	(　中止　)	(　40社　)	(　)	(　)
	実　績		中止	13社		
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明：･1回目の公告で受託事業者が決定せず、事業開始が遅れたため、市内事業者への周知が不十分となり、参加企業の実績は13社にとどまった。多くの事業者を募り、生産地「うらそえ」をアピールし、特産品の知名度向上を目指すという点では、不十分な結果に終わった。ただ、参加した企業中、2社が新たな販路を拡大し、販路拡大という点では、一定の成果があった。

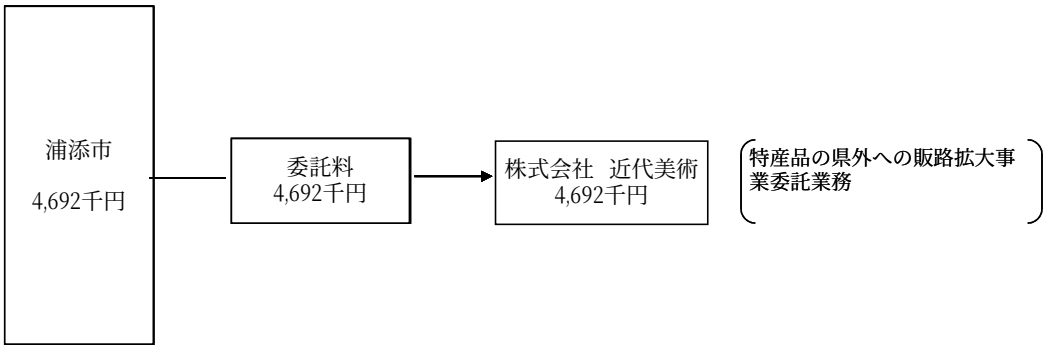
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・今回は参加した事業者が少なかったこと、参加したとしても事業者単独での出店であったことから、生産地「うらそえ」としてのアピールが不足していた。 ・事業者によって、販路拡大への意識にばらつきがあり、参加事業者が集まらなかった。	・合同出店が可能なイベント性を打ち出した物産展への出店を検討する。 ・販路拡大の意識の向上をめざし、講習会等、研修の機会を設けることを検討する。

今後の取り組み方針

・今年度、事業を実施した結果、事業者間で販路拡大への意識や、経験にばらつきがあることがわかった。次年度は、事業者毎の販路拡大策の拡充を図るため、一つの事業者への支援を強化する。また、生産地としての「うらそえ」のアピールを強化するため、イベント性を打ち出した物産展への出展に加え、常設展示型の出展等、長期的なアピールの方法も検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,692	4,692	3,753	939	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により、企業組織、実績等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-⑥	島桑オジー＆オバーで観光･産業･街おこしプロジェクト		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	3章3節9項イ目 県産品の販路拡大と地域ブランドの形成
担当部課名	市民部　商工産業課	事業実施(予定)年度		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(4)

事業内容

特産品開発のため、沖縄特有の桑品種である「シマグワ」を活用し、養蚕業（繭の生産）のほか、お茶や桑の実、繭の化粧品、絹糸等の商品化に取り組む。高齢者を活用することで、コスト圧縮と事業者への安定的供給を図る。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	17,387	32,424			
	(b)予算現額	17,386	32,422			
	(c)増減額(b-a)	▲1	▲2			
	(d)繰越額	－	－			
	A. 計(b+d)	17,386	32,422			
B. 執行済額		15,646	26,747			
うち交付金充当額		12,487	24,321			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		90.0%	82.5%			

予算の状況の説明：平成25年度事業については、事業収益が2,937,556円生じたので、その分は実費精算した。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
事業に要する桑木の作付け面積	目　標	(3,160坪)	(4,800坪)	( )	( )
	実　績	3,836坪	4,722. 47坪		
	目　標	( )	( )	( )	( )
	実　績				

達成状況説明：島桑を用いた商品（繭、桑茶）を製造し販売を実施した。また、桑果実選抜品種の育成や桑茶に発酵技術を取り入れた商品開発を専門機関と共同で進め、データや企画検討を実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
事業に要する桑木の作付け面積	目　標	(3,160坪)	(3,160坪)	(4,800坪)	( )	( )
	実　績		3,836坪	4,722. 47坪		
【参考指標】	目　標	( )	( )	( )	( )	( )
	実　績					

進捗状況説明：桑園面積については概ね目標数値に達成した。
目標面積に達することで原料の安定供給や商品開発･製造が具体的に予測可能となり、販売数量が増えるとともに販路拡大のための商談や取引もスムーズに行えるようになってきた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①畑が賃借であるため、地権者の急な返還要望が生じた場合、年間の桑生産量が減少し、取引先に予定していた数量の納品ができなくなる可能性がある。 ②開発した商品の権利を他者に取られ、使用できなくなる危険性がある。 ③台風等の自然災害による生産計画のずれや生産量の減少。	①農地の急な返還を見越した上での生産計画を立案するように対応しいるが、実際は、返還農地が明確に把握できないため、完全なリスク対応をとれてはいない。 ②開発した有益と思われる商品については、製法特許や品種登録等の権利化を行う。 ③取引先には予め農作物として台風等のリスクを説明する。台風時の被害を最小限にとどめる方法をマニュアル化して、安定的に対処できるようにする。

今後の取り組み方針

地域資源である島桑を活用し商品開発を実施することで産業の創出や芽出しを行う。開発された商品については、県内外にPRし販売を促進し事業化を目指す。なお、取組みの検証については、その都度市で有識者委員会をもち議論の上決定し進めていくものとする。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

浦添市 → 公益社団法人

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
26,747	24,321	19,456	4,865	2,426

研究機関と連携し、シマグワを利用した商品開発や事業化を目指した原料供給量安定化の整備や販売の実施。また、高齢者でも作業可能な畑の管理体制や製造体制の構築、シマグワのPRや販路開拓、地域事業者と連携した商品開発や販路開拓などの調整・検討・実施など。

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○観光型の地域特産品開発と事業化が第一義的な目的であるが、本市は高齢者を活用する事業としても位置づけているため、契約方法は地方自治法施工令第167条の2第1項第3号に基づき締結し、妥当と考える。 ○費用・使途に関しては、事業目的達成の観点から必要なものかどうかを事業途中や事業完了の際に、その都度委託者と受託者の間で協議し適正であると確認している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-⑦	浦添市農業フェスタ支援事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章3（9）イ 県産品の販路拡大と地域ブランドの形成
担当部課名	市民部　商工産業課	事業実施（予定）年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-（1）

事業内容

ＪＡおきなわ浦添支店が開催する「農協まつり」において、黒糖作りコーナー、集客イベント開催、会場設備等を支援することで、まつりの充実を通じ、県内だけでなく県外観光客誘客に取り組み、浦添市における特産品である「うらそえ織」製品や島桑を原料にした桑茶や菓子類をＰＲし観光振興・産業振興を図る。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況 (a)当初予算額	1,360	1,360			
予算の状況 (b)予算現額	1,360	1,360			
予算の状況 (c)増減額(b-a)	0	0			
予算の状況 (d)繰越額	―				
予算の状況 A. 計(b+d)	1,360	1,360			
B. 執行済額	1,360	1,360			
うち交付金充当額	1,088	1,088			
次年度繰越額	0	0			
執行率（%）(B/A)	100.0%	100.0%			

予算の状況の説明：当初目標に設定した目標値（来場者数）には届かなかったが、来場者数増を目指す取り組みに対し支援を行い、適正に執行した。

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
農協まつり開催支援	目　標	（農協まつり開催支援）	（農協まつり開催支援）	（　）	（　）
	実　績	農協まつり開催支援	農協まつり開催支援		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：ＪＡ浦添支店が開催している農協まつりにおいて補助を行うことで、県内・県外観光客誘客までを目標とし、まつり会場整備（テント・音響設備）及びイベント開催（ミュージシャン・黒糖作りコーナー等）チラシ広報物作成を行うことでまつり内容の充実と周知を行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（28年度）
農協まつり来場者数	目　標	（1800）	（2100）	（2700）	（　）	（3000）
	実　績		2500	2609		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：プロ野球キャンプが開催される2月にまつりを実施し、レンタカー会社・市近辺ホテル・キャンプ開催地（浦添市民体育館）ブースでの情報発信を行った結果例年より多くの来場者数となったが、まつり開催期間中天候が悪かったこともあり、目標数値には届かなかった。市特産品である「うらそえ織」製品・桑茶や桑菓子を観光製品としてアピールできた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①プロ野球キャンプが開催される2月は、県外観光客が市内へ多数訪れており、観光客誘客方法を検討する必要がある。 ②まつり来場者ニーズの把握	①県外観光客への広報方法を検討する。（観光客が目につく場所へ広報を拡充していく。） ②来場者数増のために来場者のニーズを把握できるアンケート等を実施し、よりよいイベントやブース内容を検討していく。

今後の取り組み方針

プロ野球キャンプ時期には、多数の県外観光客が市内に訪れることが確認できた。キャンプ時期における観光客を誘客していくため、市近辺ホテル・施設への広報を拡充していくきながらイベント・ブース内容充実を図り、来場者数増を目指すことで県・市特産品を広くアピールに向けていく活動を支援していく。また、まつり会場内にて市観光を発信できるスペースを設け、多くの来場者への観光情報を発信できるブース設置を検討したい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

浦添市 → JAおきなわ浦添支店

補助金　1,360千円

補助内容

会場設営費（テント・音響・駐車場員等）
広告費（チラシ・ポスター・横断幕）
イベント費（舞台出演者）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,360	1,360	1,088	272	

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	補助先（JAおきなわ浦添支店）が行っているまつりは、市内・県内の農作物や特産品をPRするには絶好の機会であり、補助先として妥当であったと考えている。 補助内容においては、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	５-①	創業者等相談業務		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	3章-3-(8)-ア 中小企業等の総合支援の推進
担当部課名	市民部　商工産業課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-2
事業内容	新規に事業を起こしたい方及び事業を起こして3年未満の方の経営相談、事業計画相談等に対応するため、インキュベーション･マネージメントを民間事業者等に委託し、創業、経営革新、販路開拓などの相談業務等を行い、企業の拡大･雇用者の増を図る。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	―	7,560			
	(b)予算現額	―	7,560			
	(c)増減額(b-a)	―	0			
	(d)繰越額	―				
	A. 計(b+d)	―	7,560			
B. 執行済額		―	5,824			
うち交付金充当額		―	4,658			
次年度繰越額		―				
執行率（%）(B/A)		―	77.0%			
予算の状況の説明		不用額が発生しているが、プロポーザル(入札)残及び相談実施日数減等によるものである。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
創業･経営革新･販路開拓などの相談実施日数	目　標	(　―　)	(　250日　)	(　)	(　)
	実　績	―	216日		
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明：4月…20日間、5月…20日間、6月…20日間、7月…20日間、8月…19日間、9月…19日間、10月…20日間、11月…20日間、12月…19日間、1月…19日間、2月…13日間、3月…7日間の相談実施日を設けた。
相談員が1名のみだった為、2月及び3月の相談実施日が減っている。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(28年度)
創業･経営革新･販路開拓などの相談件数	目　標	(　―　)	(　―　)	(　260件　)	(　)	(　400件　)
	実　績		―	363件		
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明：主に創業や経営革新に関する相談が多く、成果目標である260件を上回ることができた。
相談内訳：「事業計画」…70件、「資金調達」…14件、「販路開拓」…40件、「活動状況確認」…136件、「支援施策」…72件、「専門家斡旋」…2件、「販売･営業活動促進」…29件の相談があった。

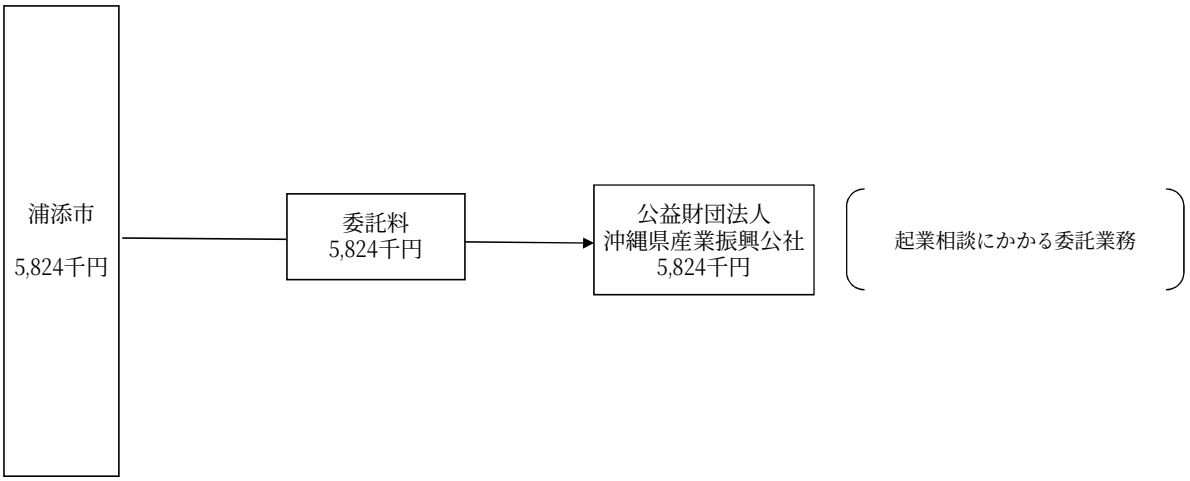
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・相談員が1名のみだった為、相談実施日の目標日数を上回ることができなかった。 ・インキュベーションマネジャーによる創業や経営革新に関する相談が行われていることがあまり認知されていない。	・相談員を複数とし、相談実施日数の確保を図る。 ・チラシ等を作成し、市役所内での配布、市ホームページ及び市広報誌への記事掲載などの周知活動を行う。

今後の取り組み方針

相談員の増及びチラシ等の配布や市ホームページ、市広報誌への掲載などの周知活動を行い、平成28年度には相談件数400件を目指す。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,824	5,823	4,658	1,165	1



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	５－②	経済人材育成事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	3章-５－(5)－イ 地域産業を担う人材の育成
担当部課名	市民部　商工産業課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－2
事業内容	企業人を育て、業績に直結する最新のマネージメントセミナー、経営講習など、沖縄経済の人材を育成する講習会、研修会、セミナーを開催する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	4,305	4,305			
	(b)予算現額	4,305	4,305			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－				
	A．計(b+d)	4,305	4,305			
B．執行済額		3,692	3,979			
うち交付金充当額		2,954	3,183			
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		85.8%	92.4%			
予算の状況の説明		不用額が発生しているが、プロポーザル(入札)残等によるものであり、事業内容は全て実施しており適正であると考える。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
研修等の開催回数	目　標	(　6回　)	(　5回　)	(　　)	(　　)
	実　績	6回	7回		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				

達成状況説明：・県外からのプロ講師を派遣し、各種テーマの裏側やこれからのビジョン、飲食店経営におけるポイントをレクチャーするセミナーを6回、他店舗の取組み等を聞き、自店舗の改善につなげていくことを目的としたシンポジウムを1回開催した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(28年度)
人材育成研修受講者数	目　標	(　－　)	(　100人　)	(　100人　)	(　　)	(　500人　)
	実　績		277人	102人		
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

進捗状況説明：・セミナー(「モチベーションが10倍上がる視点の見つけ方」…20名、「人間力ＵＰ５つのアクション」…17名、「唯一無二人生を楽しく生きる！」…15名、「顧客満足度アップのサービスとは」…14名、「顧客価値創造転換塾」…12名、「人と組織の成長」…17名、シンポジウム7名の受講者があった。

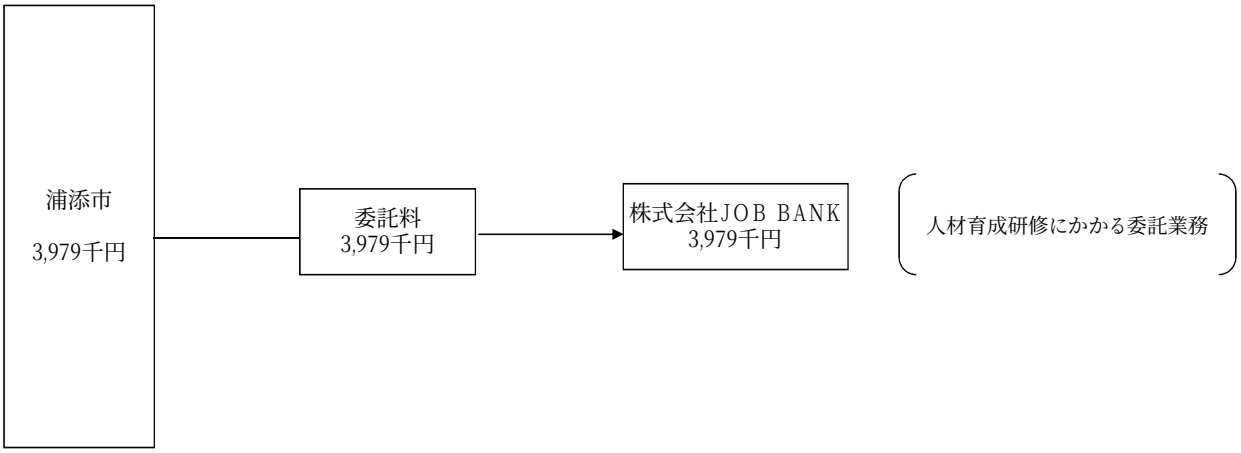
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・今回は飲食業に特化しセミナーを開催したが、セミナー実施期間が12月であり、飲食店業界が忘年会シーズンに突入していたことから、継続するにつれ出席率の減少が見受けられた。	・飲食業に特化したセミナーではなく、就業者全般向けのセミナー、研修等を開催することも検討。 ・受講者の65%がさらにレベルの高いセミナーを希望していることから、研修（座学）で得た知識を活かし、ロールプレイングなどを取り入れた参加体験型のセミナーを行う。

今後の取り組み方針

研修（座学）で知識を得て、実務力・実践力向上を目指す研修等を開催し、受講者数延500人を目標とする。
また、今後は他事業等との統合も検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,979	3,979	3,183	796	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	５－③	IT人材研修事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	3章-５－(5)－ア リーディング産業を担う人材育成
担当部課名	市民部商工産業課	事業実施(予定)年度	平成24年～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－2
事業内容	厳しい雇用情勢の中で、沖縄県内の産業振興に資する人材を育成するべく、企業実務に即したソフトウェア関連の研修、県内企業でのニーズが高い専門研修等を開催し、実社会でのニーズに対応できる人材育成に取り組む。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	6,300	6,300			
	(b)予算現額	6,300	6,300			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	―	-			
	A. 計(b+d)	6,300	6,300			
B. 執行済額		4,987	6,016			
うち交付金充当額		3,989	4,813			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		79.2%	95.5%			
予算の状況の説明		不要額が284千円発生しているが、事業内容は全て実施しており、適正であると考える。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
IT人材研修開催	目　標	（　5講座　）	（　5講座　）	（　　）	（　　）
	実　績	3講座	10講座		
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：「パソコン基礎」「ワード」「エクセル」「パワーポイント」「アクセス」「ホームページ」「Windows8」のIT研修のみならず、「ヒューマンスキル」ビジネスマナー」「就労支援」といった、就職しても早期離職や転職を繰り返さないよう「働き続ける」ために必要なスキルを身につける講座を実施できた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値(28年度)
エクセル･ワードなどの資格取得	目　標	（　　）	（　-　）	（　20人　）	（　　）	（　延　100人）
	実　績		11人	22人		
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：ワード3級8人、2級5人、エクセル3級7人、2級2人が認定試験に合格した。研修終了後も就職希望者に面談や指導を行い、受講生２０人中１０人の就職先が確定している。(平成２６年５月現在)

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	受講生の3分の1がパソコンに触れたことのない者であった。超初心者にとってIT技術を身につけるには、3ヶ月では短い。超初心者の受講希望も多いことがわかったので、ニーズに合わせた内容で実施できるようにする。	目標値を達成するにためには、次年度、受講希望者数を増やすことが必要。受講生のレベルによってクラス別に講座をすることも検討。

今後の取り組み方針

より求められる人材を育成するため、研修期間の見直しや募集人数の増加、受講生のレベルごとの講習内容を変えるなど、最大限の効果の得られるような設定をしていく。
また、今後は他事業等との総合も検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,016	6,016	4,813	1,203	0

浦添市
6,016千円
→ 委託料 6,016千円
→ 有限会社 サイバー・ブレインズ 6,016千円
（人材育成事業にかかる委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-④	スーパー・コミュニケーショナルスクール事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-（5）-ウ
					産業振興を担う人材育成
担当部課名	教育部　総務課	事業実施（予定）年度	平成24年度～平成28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-2
事業内容	国際社会に対応できる人材を育成するため、英語と中国語を集中的にマスターするための教育機関としてスーパー・コミュニケーショナルスクールを設置し人材育成に取り組んでいる。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	5,000	25,000			
	(b)予算現額	5,000	25,000			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	―				
	A. 計(b+d)	5,000	25,000			
B. 執行済額		4,670	24,461			
うち交付金充当額		3,736	19,569			
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		93.4%	97.8%			
予算の状況の説明		語学運営の委託事業やパソコン等の備品購入など計画通り執行できた。				

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
生徒受入	目　標	（　設置・運営　）	（　20人　）	（　）	（　）
	実　績	設置・運営	20人		
（参考）人材育成研修の実施機関	目　標	（　設置・運営　）	（　600～700時間　）	（　）	（　）
	実　績	設置・運営	600～700時間		
達成状況説明	カリキュラムに沿って中国語363H、英語153Hの2ヶ国語について学習し、事務局がもっている郷土学15Hや海外研修（中国）64Hを行った。				

成果目標（指標）及び進捗状況

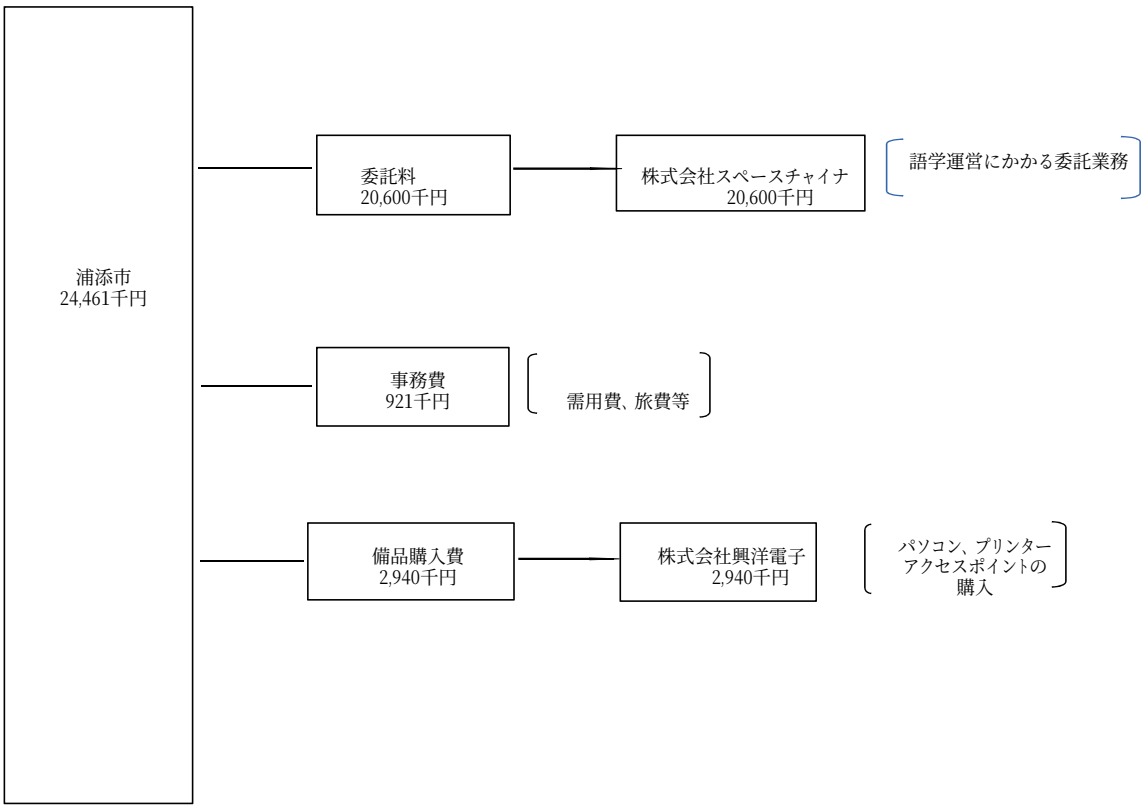
H25成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
受講者数：20人	目　標	（　-　）	（　設置・運営　）	（　20人　）	（　）	（　）
	実　績		設置・運営	20人		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明	2年在学のうち、1年間が修了し、中国語、英語のスキルアップにつながった。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	生徒の学習習得状況を把握するため定期的に学習確認を行う。 ①語学力の達成度にバラツキがある。 ②コミュニケーション能力など企業が求める人材としての資質 ③広報活動の検討	①　習熟度判定シートにより個人個人の語学力レベルを的確に把握し今後　の支援に繋げていく。 ②-1　より高いホスピタリティーを発揮できる人材を育成するため地元学や企業現場実習を通して資質向上を支援する。 ②-2　個人面談の実施（年2回） ②-3　商工産業関係者（商工産業課、浦添市観光協会、浦添商工会議所）との情報交換・連携を図る。 ③広報用のチラシ、及びホームページ、広報うらそえ、公共施設等に配布やお知らせをし、募集を募る。

中国語検定資格の合格率とTOEICのレベルアップを高めることと、学習習熟度シートを取り入れ、定期的に個人面談をし、人材育成に繋げる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
24,461	24,461	19,569	4,892	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費用、・使途については事業目的の観点から適切であったと考えられる。 ○海外研修に関してはカリキュラムに沿って受益者負担としているので妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-①	未来へ翔たく太陽っ子育成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア 公平な教育機会の享受に向けた環境整備
担当部課名	指導部　学務課	事業実施(予定)年度	平成24年度～平成33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容

・スポーツ･文化活動の全国で活躍できる体制を強化するため、県外で開催される全国大会（ブロック大会含む。）に参加する児童生徒（大会登録選手に限る）を対象として、大会開催地までの渡航に必要な旅費の一部を補助する。

◎沖縄振興特別推進交付金対象経費：航空賃又は船賃の半額を上限

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	25,000	25,000			
	(b)予算現額	19,000	25,808			
	(c)増減額(b-a)	▲ 6,000	808			
	(d)繰越額	－	0			
	A．計(b+d)	19,000	25,808			
B．執行済額		12,836	23,612			
うち交付金充当額		3,492	6,737			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		67.6%	91.5%			

予算の状況の説明

当初予算2,500万円に対して実績額の増により予算を増額して対応した。派遣人数は、概ね想定どおりであったが、目標とする480人には7人届かず、473人という実績にとどまった。

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
全国大会等県外派遣生徒数（480人）への航空賃及び船賃への一部補助	目　標	（　延480人　）	（　延480人　）	（　　）	（　　）
	実　績	延257人	延473人		
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明

・スポーツ･文化活動の全国で活躍できる体制を強化するため、九州大会や全国大会など県外派遣に要する費用の一部を補助し、九州大会25回、全国大会14回に延473人の児童生徒が出場した。
　活動目標480人に対して473人という実績となった要因は、県予選大会の結果によるもので、県外へ派遣を想定している個人･団体が必ずしも優勝し派遣されるとは限らない。今年度は、例年派遣されていたハンドボールの種目で敗退したチームがあった。また逆に、想定していなかった種目（合唱）で派遣された。県予選の結果に左右される補助事業である

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)
全国大会等県外派遣生徒数（473人）への航空賃及び船賃への一部補助	目　標	（　延413人　）	（　延480人　）	（　延480人　）	（　　）	（　年間延450人　）
	実　績		延257人	延473人		
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明

・スポーツ･文化活動の全国で活躍できる体制を強化するため、九州大会や全国大会など県外派遣に要する費用の一部を補助することにより71件（延473人）の児童生徒が、他県でのスポーツ、文化の大会等に参加した。
しかし、今年度は、例年派遣されていたハンドボールの種目で敗退したチームがあった。また逆に、想定していなかった種目（合唱）で派遣された。県予選の結果に左右される補助事業であるため、結果として、派遣実績が473人となり、成果目標の達成には至らなかった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・平成25年度までは、浦添市の派遣対象が浦添市立小中学校へ在籍している児童生徒を対象としているため、浦添市に在住し私立小中学校等へ在籍している児童生徒が対象外となっていた。	・平成26年度より広く多くの児童生徒に事業を活用してもらうため、派遣対象の要件等の見直しを図った。広報活動等を通じ、事業の周知を行う。 ＊要件の見直しの内容としては、私立小中学校等に在籍する児童生徒も対象となるよう範囲の拡大を検討する。

今後の取り組み方針

・ホームページや広報誌を活用し、団体、個人、各競技団体への周知を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
23,612	8,422	6,737	1,685	15,190

浦添市 23,612千円 → 補助金 23,612千円 → 交付対象 8,422千円 → 【派遣種目】 71件　延473人
水泳・レスリング・サッカー・ハンドボール・空手道・剣道・柔道・相撲・軟式野球・卓球・リコーダー等

航空賃の1/2

対象外経費
航空賃1/2他　宿泊費　輸送費　会場費　等

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	使途について、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	８－①	エコアイランドに向けた人材育成及びキャリア教育事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－⑶－イ 自ら学ぶ意欲を育む教育の充実
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成２４～２８年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-⑴

事業内容

児童の社会性･協調性を養い、エコアイランド沖縄に向けた人材育成を図るため、小学校5年生を対象とした自然、農業、漁業の体験宿泊学習を行なう。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	12,670	23,759			
	(b)予算現額	12,670	23,759			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	0			
	A. 計(b+d)	12,670	23,759			
B. 執行済額		12,670	23,568			
うち交付金充当額		10,109	18,855			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	99.2%			

予算の状況の説明：市内全小学校5年生全員を対象として、2泊3日の体験的な宿泊学習が執行できた。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
市内小学校5年生全員を対象に自然･農業･漁業の体験宿泊学習を実施	目　標	(1,427 人)	(1,397人)	( )	( )
	実　績	1,427 人	1,397人		
	目　標	( )	( )	( )	( )
	実　績				

達成状況説明：豊かな自然の中で普段の生活では体験できない野外活動を共同で行うことにより、社会性･協調性を養い、エコアイランド沖縄に向けた児童の人材育成を図るため、市内小学校5年生全員を対象に自然･農業･漁業の体験宿泊学習を実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
市内小学校5年生全員を対象に自然･農業･漁業の体験宿泊学習を実施	目　標	( )	(1,427 人)	(1,397人)	( )	( )
	実　績		1,427 人	1,397人		
【参考指標】	目　標	( )	( )	( )	( )	( )
	実　績					

進捗状況説明：特別支援学級の児童等も含め、全児童が農業、漁業等を体験することにより、あらゆる職業に対する理解を深め、キャリア教育を推進することができた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・学校の規模の応じて,民泊等体験できない児童がいるため、全児童が全体験ができるようにすることが課題である。	・普段の学校・家庭生活で味わうことのできない冒険、自然体験や民泊を体験することにより、協力し、行動する大切さ学ぶ現在のカリキュラムは好評ではあるが、現状に満足せず、今後もしっかり行い、カリキュラムの適時性を見極める。

今後の取り組み方針

・2泊3日の体験学習が、単発的な事業とならないよう、児童・生徒・保護者とのニーズの把握や情報収集を行い、事業内容をしっかり検証しながら、児童の社会性・協調性を養い、エコアイランド沖縄に向けた人材育成を図るため取り組んでいく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
23,568	23,568	18,855	4,713	0

浦添市
23,568千円

指導員謝礼金
2,425千円 →
浦城小10名　315,000円
沢岻小8名　252,000円
内間・浦添小10名　357,000円
宮城・港川小11名　409,500円
当山小　10名　315,000円
仲西小　8名　241,500円
前田小　6名　189,000円
牧港・神森小　9名　346,500円

消耗品費182千円 →
浦添小　10,039円　仲西小　20,000円
神森小　14,836円　浦城小　21,845円
牧港小　10,804円　当山小　24,296円
内間小　14,875円　港川小　19,903円
宮城小　14,959円　沢岻小　19,920円
前田小　11,308円
（カラー布テープ、コハクリボン、虫よけスプレー・マーカー8色）

事業委託料
20,960千円
東村ふるさと振興株式会社 →
内容
・謝金：看護士、現地技術指導員、農業・漁業体験
・保険料
・交通費：大型マイクロバス借上料
・緊急用車両借上げ料
・施設使用料（PA・テント・バンガロー）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・受託業者は、安全性の確保や体験内容の充実度、天候の変化等への対応、地域（民泊・農業体験・漁業体験）との連携等において、最適である。 ・受益者（小学校5年生）は、各自の食費を負担するが、その他の費用を市が負担することで、より多くの児童が参加できている。 ・費目・使途は事業の目的に沿って執行されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	８－②	学力等底上げ推進支援事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－⑶－ア 自ら学ぶ意欲を育む教育の充実
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成２４～２８年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-⑴

事業内容

児童生徒の学力の底上げと不登校児童生徒、問題行動児童生徒の学習支援を図り、沖縄振興を支える人材を育成する。そのため学習支援員･日本語教育支援員･教育相談員を各学校へ配置し、担当課においても教育相談員･青少年相談員･臨床心理相談員を配置し、児童生徒や保護者を支援する。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	43,042	95,907			
	(b)予算現額	43,042	95,907			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	43,042	95,907			
B. 執行済額		41,137	87,316			
うち交付金充当額		32,908	69,853			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		95.6%	91.0%			

予算の状況の説明：支援員の確保が出来ず欠員期間が生じたため、賃金に執行残が生じた。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
配置枠 ･学校教育支援員　33名 ･日本語教育支援員　2名 ･臨床心理相談員1名 ･教育相談員(学校配置　16名、担当課6名)	目　標	(　34人　)	(　68人　)	(　　)	(　　)
	実　績	34人	68人		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				

達成状況説明：相談員や支援員の体調不良等により退職等はあるが、新たな雇用により人員確保できた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
配置枠 ･学校教育支援員　33名 ･日本語教育支援員　2名 ･臨床心理相談員1名 ･教育相談員(学校配置　16名、担当課6名)	目　標	(　　)	(　34人　)	(　68人　)	(　　)	(　　)
	実　績		34人	68人		
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

進捗状況説明：･支援員等を配置することにより、不登校児童生徒への支援や課題の児童生徒の学習支援を実施し、長期欠席児童生徒数の減少等一定の効果があった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・学校支体制の強化を図っており、全国学力テストをその指標に掲げているが、その効果が表れるには中長期的な期間を要することが考えられる。 ・教育相談の来所数増加に伴い、業務量の増加し、現体制では対応が難しくなってきた。	・短期的な効果をどのように示していくかが、本事業の目標を達成するために重要になってくると考える。 ・教育相談件数の増加に伴い、現体制では年度末に定期来所生の受入困難となる恐れがあるため、業務全般に対し検証・改善を行った。 面談記録の簡素化、原則個別面談から集団活動日を設けるなど実施したい。 業務の効率化だけでなく、児童生徒の集団に対する不安感を軽減するなどを期待し、集団プログラムの充実を図る。

今後の取り組み方針

・平成28年度には、全国学力テストにおいて、正答率を小学校61.9%、中学校62.3%まで引き上げられるよう、学力の底上げを図る。
そのためには、より良い人材を安定して確保することと、事業効果についてしっかり分析していく必要があり、その方法についてしっかり検証していく。
・不登校児童生徒数の減少を次年度以降も達成するため、今年度一定の効果があったと思われる各相談員の配置を継続する。
・随時、課題を検証し、不登校児童生徒の減少と青少年の非行未然防止及び青少年環境浄化に努め、学力底上げに寄与したい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
87,652	87,316	69,853	17,463	336

浦添市
87,316千円

報酬 臨床心理相談員 教育相談員 青少年相談員 19,777,275円	→	臨床心理相談員　1名 教育相談員　6名 青少年相談員　10名
報酬に係る費用弁償 臨床心理相談員 教育相談員 青少年相談員 1,799,700円	→	臨床心理相談員　1名 教育相談員　6名 青少年相談員　10名
謝礼 教育相談員 12,096,000円	→	小学校11校　×　1名　＝　11名 中学校 5校　×　5名　＝　5名
賃金 学校教育支援員 日本語教育支援員 53,318,600円	→	臨時職員の配置（賃金） ・学習教育支援員 小学校11校　×　2名　＝　22名 中学校 4校　×　2名　＝　8名 中学校 1校　×　3名　＝　3名 ・日本語教育支援員　2名
消耗品費・燃料費 275,384円	→	各業者へ支払い（コピー用紙・ラミネート用紙・高校入試過去問題集・こども日本語練習帳
自動車賃借料 50,000円	→	各業者へ支払い

資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支援員は、学校推薦者を含め公募し、担当課における面接により選考した。 ・賃金は、市の基準単価による ・謝礼金は、市の基準単価内
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	⑨-１	浦添の歴史文化整備保存事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-１-(4)-エ 伝統文化の保存･継承及び新たな文化の創造
担当部課名	文化部　浦添市立図書館	事業実施(予定)年度	H24～H30	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-３-２
事業内容	浦添市の収集･保有している資料の写真･証言記録をもとに『浦添市移民史　資料･証言編』を刊行し、浦添の歴史を語る知的財産として浦添出身者の移民･出稼ぎ･移住の実態をまとめる。移民･出稼ぎ･移住に関す講演会･展示会を開催する。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	7,623	6,056			
	(b)予算現額	7,623	6,056			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	―	―			
	A．計(b+d)	7,623	6,056			
B．執行済額		5,345	4,337			
うち交付金充当額		4,274	3,469			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		70.1%	71.6%			
予算の状況の説明		1719千円の不用額は『浦添市移民史　証言･資料編』の編集において必要な会議･講演会等の開催にかかる原稿執筆料にかかる報酬、報償費、旅費、消耗品費、印刷製本費、役務費費の必要額執行後の執行残である。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
浦添市移民史の編集委員会の開催	目　標	(　―　)	(　3回開催　)	(　　)	(　　)
	実　績	―	(　3回開催　)		
市内聴き取り調査の実施	目　標	(　―　)	(　随時　)	(　　)	(　　)
	実　績	―	(　5回　)		
『浦添市移民史　証言･資料編』の刊行	目　標	(　―　)	(　750部　)	(　　)	(　　)
	実　績	―	(　600部　)		
講演会･展示会の開催	目　標	(　―　)	(　各1回　)	(　　)	(　　)
	実　績	―	(　各1回　)		

達成状況説明

浦添市移民史編集委員会の編集方針に基づき、専門部会で構成･内容の検討を行い、浦添の移民･出稼ぎ･移住者からの聴き取り調査により得られた証言、収集した写真等資料による『浦添市移民史　証言･資料編』を刊行した。市内教育施設、自治会、県内公共図書館及び大学図書館、県内外の研究機関、国内県人会、海外県人会及び市人会へ配布した。配布先を検討し、証言を掲載した個人への配布を見直し、広知性のある団体等への配布とすることとして刊行部数を変更した。講演会および海外移住の日にあわせて「移民」についての資料の展示会を開催した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(30年度)
浦添市移民史の編集に関する会議開催	目　標	(　―　)	(　―　)	(　3回開催　)	(　　)	(　　)
	実　績			(　3回開催　)		
市内聴き取り調査の実施	目　標	(　―　)	(　―　)	(　随時　)	(　　)	(　　)
	実　績			(　5回　)		
『浦添市移民史　証言･資料編』の刊行	目　標	(　―　)	(　―　)	(　750部刊行　)	(　　)	(　　)
	実　績			(　600部刊行　)		
講演会･展示会の開催	目　標	(　―　)	(　―　)	(　各1回開催　)	(　　)	(　　)
	実　績			(　各1回開催　)		
【参考指標】浦添市立図書館「沖縄学研究室」利用者	目　標	(　1728人　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　1900人　)
	実　績		1637人	1935人		

進捗状況説明

平成25年度は、移民史編集委員会、専門部会等の会議を開催し、『浦添市移民史　証言･資料編』及び『浦添市移民史　本編』について検討した。また移民･出稼ぎ･移住体験者の市内聴き取り調査を実施した。『浦添市移民史　証言･資料編』を刊行した。講演会･展示会を各1回実施した。平成26年度は『浦添市移民史　本編』を刊行する。

1. 移民史編集委員会:3回
2. 『証言･資料編』作業部会:3回
3. 『本編』作業部会:2回
4. 専門委員全体会議:1回
5. 専門部会:5回
6. 『証言･資料編』執筆者会議:1回
7.. 市内聴き取り調査の実施:5回
8. 『浦添市移民史　証言･資料編』刊行:600部
9. 「楽しく学ぼう！　移民ってなーに？」実施:参加者　43人
10. 移民資料展示会「6月18日は海外移住の日　移民資料展」開催:観覧者数　248人

※浦添市立図書館「沖縄学研究室」利用者は講演会参加者･展示会観覧者を含む。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	より多くの市民、浦添出身者等に関心を持ってもらうために積極的な普及活動が望まれる。　事業を周知し、浦添の歴史のついて理解を深めてもらうために、より多方面へ広報する工夫が必要である。	浦添の歴史に関する理解を深めてもうらうために、平成25年度に刊行した『浦添市移民史　証言・資料編』に収録された資料を中心に移民資料の展示会を実施する。また、平成25年度は国際交流課と共同で事業を実施し、相乗効果が得られた。平成26年度も他機関と共同事業を積極的に実施する。

今後の取り組み方針

平成26年度は平成25年度に刊行した『浦添市移民史　証言・資料編』に収録した証言、名簿資料等及びこれまでに収集した資料を活用し、「浦添の移民の歴史」を掘り下げた論考を内容とする『浦添市移民史　本編』を刊行する。市内教育施設、自治会、県内公共図書館及び大学図書館、県内外の研究機関、国内県人会、海外県人会及び市人会へ配布して浦添市民及び浦添出身者に郷土の歴史を浦添の歴史のついて理解を深めてもらう。また、移民に関連する講演会、展示会を実施する。これらの事業をとおし、移民先の浦添出身者や移民先国との互いの国の歴史・文化の相互理解につながり、国際化時代に対応できる人材の育成に寄与する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,337	4,337	3,469	868	

浦添市
4,337千円

- 報　酬 117千円 → 移民史編集委員会にかかる委員報酬　第1回　6,500円×5人　第2回　6,500円×6人
- 旅費（費用弁償） 18千円 → 移民史編集委員会にかかる費用弁償　第1回　1,000円×5人　第2回　1,000円×6人
- 報償費 468千円 → 【会議にかかる謝礼金】
  1.『証言・資料編』作業部会
  ①5,000円×6人
  ②5,000円×9人
  ③5,000円×8人
  2.『本編』作業部会
  ①5,000円×6人
  ②5,000円×6人
  3. 専門委員全体会議
  ①5,000円×12人
  4. 専門部会
  ①5,000円×3人
  ②5,000円×4人
  ③5,000円×2人
  ④5,000円×5人
  ⑤5,000円×4人
  5.『証言・資料編』執筆者会議
  ①5,000円×3人
- 需用費 3537千円
  - → 株式会社ジムキ文明堂 37千円 → 数取器購入（行事参加者カウント用）
  - → 株式会社尚生堂 3,500千円 → 『浦添市移民史　証言・資料編』印刷製本
- 役務費 197千円
  - → 株式会社　Nansei 13千円 → 沖縄県公文書館資料複写手数料
  - → 日本郵便株式会社 184千円 → 切手の購入（会議開催通知、事務調整、刊行物郵送）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	編集委員会及び専門部会での検討により方針を決定し、編集を行い、「移民史」を刊行した。印刷製本については指名競争入札により実施、その他の費目・使途についても適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	9-②	歴史にふれる館整備事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－１－（４）－ア 伝統文化の保全･継承及び新たな文化の創造
担当部課名	文化部　文化課	事業実施（予定）年度	平成24年～平成26年	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－（２）

事業内容

浦添市内で発掘調査された遺跡の土器や石器などの遺物、市民から寄贈された民具、近世浦添が窺える厨子甕に記される銘書等の展示活用と発掘調査出土遺物の保管収蔵と利用の為、浦添市立港川共同調理場移転後の施設を展示及び収蔵施設として改修を行う。平成２５年度は、平成２４年度に作成した実施設計を基に改修工事を実施する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	7,349	22,000			
	(b)予算現額	7,349	22,000			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	―	-			
	A. 計(b+d)	7,349	22,000			
B. 執行済額		7,193	21,742			
うち交付金充当額		5,754	17,393			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		97.9%	98.8%			

予算の状況の説明

不要額が258千円発生しているが、改修工事に係る工事請負契約および監理業務委託契約の入札残によるもので、業務内容および活動目標の達成を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
前年度に作成した実施設計を基に、「歴史にふれる館」の改修工事を実施	目　標	（実施設計の策定）	（改修工事の実施）	（　）	（　）
	実　績	実施設計の策定	改修工事の実施		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

旧給食調理場施設を展示収蔵施設へ改修するための工事を実施した。平成25年度には調理場設備等の撤去･間仕切り等の撤去と床面凹凸の平坦化、展示室への改装･電気設備等の工事を実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（26年度）
「歴史にふれる館」の改修工事を実施	目　標	（　）	（実施設計策定）	（改修工事の実施）	（　）	（改修工事実施および収蔵品搬入）
	実　績		実施設計策定	改修工事の実施		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

平成２５年度は旧給食調理場設備の撤去および展示設備を中心に改修工事を完了した。
次年度は空調設置、発掘調査出土遺物や民俗資料等の文化財を収蔵するための棚設置等の工事を実施した後に、展示･収蔵品の搬入を行う。

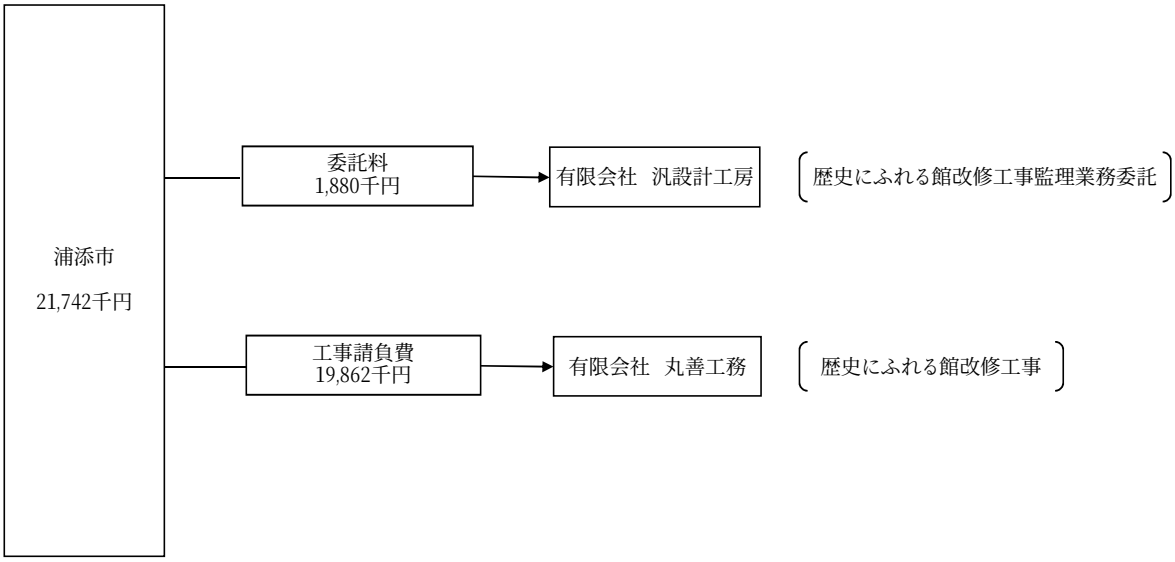
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	平成２５年度に予定していた展示設備等の改修は概ね完了したが、展示品を収蔵しておくための設備を引き続き整備する必要があるため、次年度も事業を継続して実施する。 次年度の事業において改修工事および展示･収蔵品の搬入を完了する予定であることから、速やかな開館にむけ、また開館後の集客を図るための展示計画の作成および周知活動が課題である。	周知方法について、広報担当部署など市関係部局と連携しながら、効果的な活動を実施する。また、展示については、浦添市の特色を表現することで、歴史的理解と集客につながるよう内容を検討する。

今後の取り組み方針

次年度には、改修工事及び搬入作業を実施すると共に、平成27年度の「歴史にふれる館」開館に向けた周知活動及び運営･展示活用の内容に関する検討を行う。
周知活動については、市HP･広報誌･ポータルサイト「うらそえナビ」などを効果的に活用できるよう、他の部署と連携する。
展示については、県･他市町村の博物館等の展示内容も踏まえながら、浦添の歴史･文化的な特徴を表出･理解できるような常設展示や企画展示の計画作成を進める。また、展示室のみならず、収蔵状況も見学可能となるよう収蔵形態を工夫する予定である。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
21,742	21,742	17,393	4,349	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	改修工事および工事監理業務の請負者は、指名競争入札方式により、企業組織･実績等を勘案した上で市指名業者選定委員会が入札参加者を選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	９-③	琉球空手のルーツを探る事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章-１-(4)-エ 伝統文化の保全･継承及び新たな文化の創造
担当部課名	文化部文化課	事業実施(予定)年度	平成24～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-(3)-2

事業内容

空手は、琉球固有の武術「手(ティー)」と中国武術が融合して発展したものと言われている。浦添に王城浦添グスクを構えた琉球国中山王の察度王代に始まる中国との冊封関係を基に行われた交易の中で発展してきた「手(ティー)」と中国武術の関連性について調査し、相互の武術交流を行い、調査報告書を作成する。平成25年度は、調査研究会の開催と中国泉州市における調査と武術交流を行う。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	940	5,162			
	(b)予算現額	940	5,162			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	―	-			
	A. 計(b+d)	940	5,162			
B. 執行済額		551	5,068			
うち交付金充当額		440	4,055			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		58.6%	98.2%			

予算の状況の説明：不用額が９３千円発生しているが、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標･成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
琉球空手と中国武術との関連性の調査	目　標	（事前調査）	（現地調査 事前調査）	（　）	（　）
	実　績	事前調査	現地調査 事前調査		
琉球空手と中国武術の交流の実施	目　標	（交流の実施）	（交流の実施）	（　）	（　）
	実　績	交流の実施	交流の実施		

達成状況説明：
･中国泉州市にて、琉球空手と中国武術との関連性解明を目的とした現地調査および武術交流を実施した。
･中国鄭州市にて、鄭州市体育局および鄭州市人民政府外事弁公室、登封少林鷲坡武術専修院、嵩山少林寺等の行政組織や関係団体と面談し、同事業の趣旨と事業計画の説明をおこなった。面談した行政組織や関係団体からは、同事業への理解を得ることができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値(26年度)
琉球空手と中国武術との関連性の調査	目　標	（-）	（事前調査）	（現地調査 事前調査）	（　）	（シンポジウム参加者300人）
	実　績		事前調査	現地調査 事前調査		
琉球空手と中国武術の交流の実施	目　標	（-）	（交流の実施）	（交流の実施）	（　）	（　）
	実　績		交流の実施	交流の実施		

進捗状況説明：
･中国泉州市にて、琉球空手と中国武術との関連性解明を目的とした現地調査および武術交流を実施した。
･中国鄭州市にて現地関係団体者と面談し、同事業の趣旨と事業計画の説明をおこなった。面談した行政組織や関係団体等からは、同事業への理解を得ることができた。

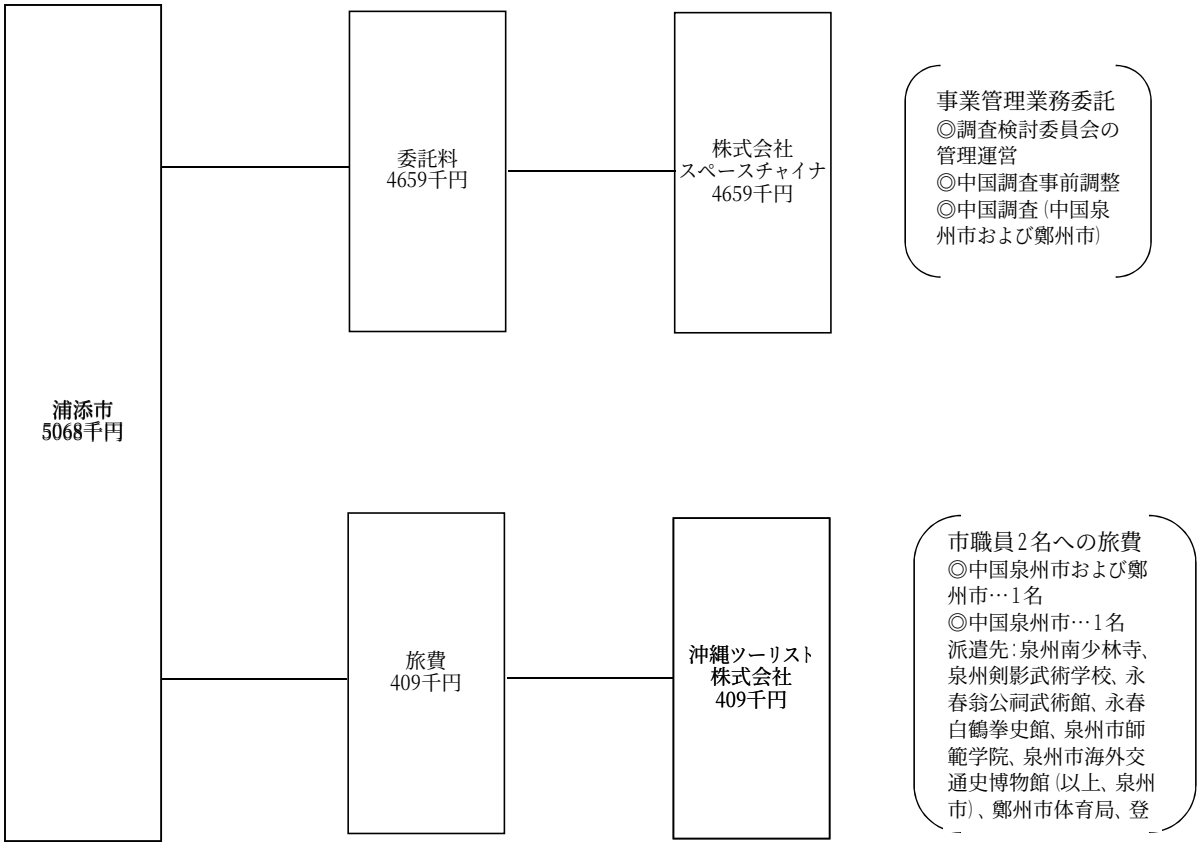
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	平成２５年度は中国泉州市にて調査及び武術交流を実施した。中国武術と琉球空手の共通点があることが判明した。なお3回実施した調査検討委員会の内、1回を公開した。空手演武者および空手研究者の出席が多かったことから、当事業に対する関心の高いことがうかがえた。	平成２６年度は中国鄭州市にて調査業務を実施予定だが、昨年度実見した中国武術との比較を踏まえ、継続して技と型との共通性を探る調査を実施。また開催予定のシンポジウムについて、調査検討委員会委員や現地関係団体、中国現地研究者等へ幅広く協力を得ながら進める。

今後の取り組み方針

平成２６年度は、中国鄭州市にて琉球空手と中国武術との関連性の調査を実施。そして3年間の成果を踏まえ、シンポジウムを開催、調査研究報告書を刊行する。昨年度に引き続き、調査検討委員および現地関係団体、中国現地研究者に協力を得ながら進めていく。調査研究報告書は関係諸機関へ配布し、琉球空手の更なる興味喚起を促進、沖縄の観光振興への効果につなげる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,068	5,068	4,055	1,013	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は指名型プロポーザル方式により、企業組織、実績、組織等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ・費目、使途については、額の確定時において、事業目的達成の観点から必要なもののなのか等について支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	９－④	琉球オペラ創出事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－３－⑵ ウ 世界水準の観光リゾート地の形成
担当部課名	文化部　文化課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－(2)

事業内容	新たな沖縄文化の創造のため、本市の文化財ようどれを舞台にした、琉球ｵﾍﾟﾗを創作し公演する。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額		5,000			
	(b)予算現額		5,000			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	0	5,000			
B. 執行済額			5,000			
うち交付金充当額			4,000			
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		-	100.0%			

予算の状況の説明	予算減は、出演費によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標･成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
琉球オペラ公演の開催:2回	目　標	(　)	(　2回開催　)	(　)	(　)
	実　績		2回開催		
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明	今回、浦添ようどれに眠る実の人物、尚寧王妃アオリヤエを題材にオペラを創作し、市民、県民に舞台芸術としての高い評価を受けることができた。このことにより、琉球オペラ「アオリヤエ」は、本格的なオペラとして浦添の新たなシンボルとして認知していただける要素が完成した。観光客にも広く知らしめることができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
琉球オペラ公演の開催:2回	目　標	(　)	(　)	(　2回開催　)	(　)	(　)
	実　績			2回開催		
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明	琉球オペラ「アオリヤエ」を創出できたことによって、本市の地域資源をさらに新しい沖縄の文化の創造の発信として広めて生きたい

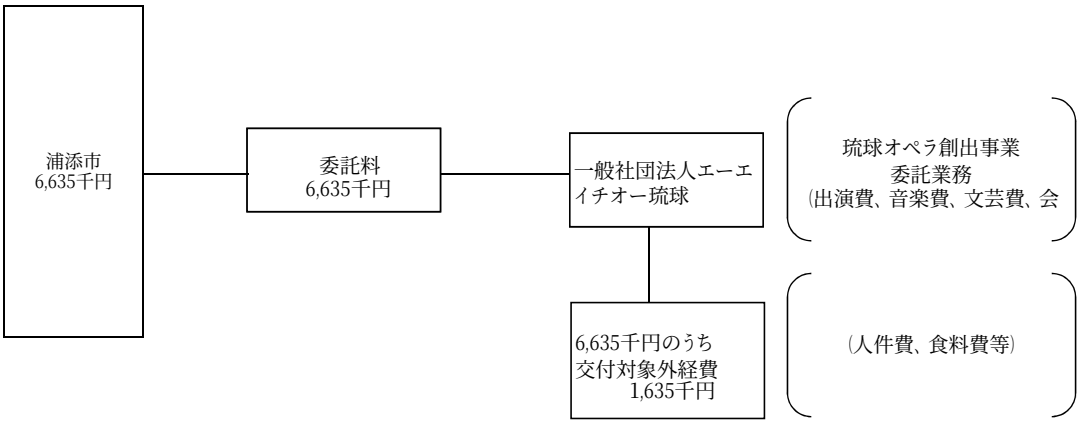
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	琉球史を題材にした琉球オペラを創出公演した。推進上、沖縄県や浦添市出身者の実演家の育成が急務である。また、市民が総合芸術であるオペラへの理解度を参加鑑賞で体験し芸術性を高めていく作業も必要である。	沖縄振興に資するため、琉球史を題材にした琉球オペラを創出公演を2回開催した。観光客誘致や文化財の周知等まちづくりに寄与することができた。琉球オペラ「アオリヤエ」をとおして観光客誘致や制作者や演出家など文化産業の団体と人材育成。さらに市民の参加型鑑賞による感動体験の創出が求められる。

今後の取り組み方針

琉球オペラが完成したので、平成２５年度事業は完了した。今後は、さらに市民参加型の琉球「オペラ」を創出し感動体験と地域資源を広く知らしめ観光客誘致と文化産業の団体、人材育成となる浦添発のソフトコンテンツとして育てていくためにも定期的な公演が必要である。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,635	5,000	4,000	1,000	1,635



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	「地方自治法施行令」及び「浦添市契約規則」等の法令規則に基づいて執行しており、予算規模、執行内容についても事業目的に即した適切な執行であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	９－⑤	てだこホール引割幕設置事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－３－(2)－ウ 世界水準の観光リゾート地の形成
担当部課名	文化部　文化課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－(2)
事業内容	沖縄振興に貢献する文化発信拠点を整備するため、本市の文化の発信地であるてだこホール大ホールに引割幕を設置し、機能強化を図る。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額		3,791			
	(b)予算現額		0			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	0			
	A. 計(b+d)	0	3,791			
B. 執行済額			3,780			
うち交付金充当額			3,024			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		－	99.7%			
予算の状況の説明		予算減は、入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標･成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
舞台引割幕設置	目　標	(　　)	(　引割幕設置　)	(　　)	(　　)
	実　績		引割幕設置		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				

達成状況説明：活動目標はすべて達成した。浦添市てだこホール大ホールの引割幕を設置委託により施行した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
舞台引割幕設置	目　標	(　　)	(　　)	(　引割幕設置)	(　　)	(　　)
	実　績			引割幕設置		
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

進捗状況説明：成果目標はすべて達成した。てだこホール大ホールにおいて、演技中に奥のセットなどを準備する場合に使用する引割幕ができ、講演会、演劇オペラ等の舞台転換でよりよく演出ができ、引割幕を設置し機能強化したことで　演出の幅が広がり舞台利用者の満足度が向上した。

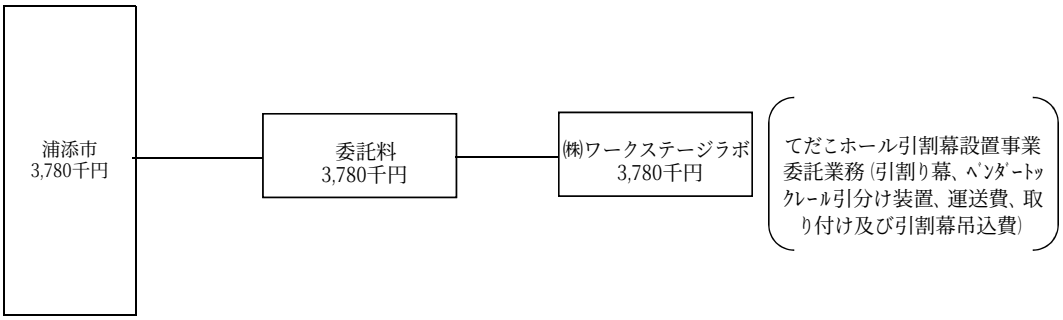
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	てだこホールの機能拡大となる舞台引割幕を設置した。今後は、引き割り幕の稼動実績と使用の方法などを顧客にアピールすることが重要と考えられる。	沖縄振興に資するため、てだこホールの機能拡大となる舞台引割幕を設置し、観光客向けのMICE誘致や顧客満足度の向上を図った。設置後の使用頻度が増し顧客満足を図ることができた。また、顧客獲得に向けた引き割り幕の使用例など広く周知し稼働率の向上を図りたい。

今後の取り組み方針

引割幕の設置が完了したため、平成25年度で事業を終了する。今後の取り組みについて、顧客獲得に向けた引き割り幕の使用例など広く知らしめ稼働率の向上を図りたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,780	3,780	3,024	756	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	「地方自治法施行令」及び「浦添市契約規則」等の法令規則に基づいて執行しており、予算規模、執行内容についても事業目的に即した適切な執行であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	9-⑥	歴史･文化ガイダンス強化事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章-3-⑵-ア 世界水準の観光リゾート地の形成
担当部課名	文化部　文化課	事業実施(予定)年度	平成25～32年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-⑴

事業内容

国指定史跡「浦添城跡」や「中頭方西海道及び普天満参詣道」をはじめとする市内の文化財を浦添市の観光資源としての活用推進につなげるため、歴史･文化ガイダンスの充実化を図る。具体的には浦添市の歴史･文化を理解しやすくするためにガイダンス施設の展示を充実させ、同展示の説明や市内文化財を紹介するガイドの体制を整え、歴史･文化に関する情報発信の強化を図る。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	0	16,050			
	(b)予算現額	0	16,050			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	0	0			
	A. 計(b+d)	0	16,050			
B. 執行済額		0	13,854			
うち交付金充当額		0	11,083			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)			86.3%			
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
展示物の作成	目　標	(　)	(4件)	(　)	(　)
	実　績		4件		
文化財案内マップ等の作成	目　標	(　)	(1件)	(　)	(　)
	実　績		1件		
ガイド体制の充実および情報発信強化	目　標	(　)	(1件)	(　)	(　)
	実　績		1件		

達成状況説明：ガイダンス施設展示物の作成4件、文化財案内マップの作成1件、ガイド体制の充実1件に取り組み、全て目標を達成した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
展示物の作成 文化財案内マップ等の作成 ガイド体制の充実および情報発信強化	目　標	(0件 0件 0件)	(　)	(4件 1件 1件)	(　)	(　)
	実　績			4件 1件 1件		
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明：展示物の作成(4件)、文化財案内マップの作成1件、ガイド体制の充実1件を実施する目標を達成し、歴史･文化ガイダンス施設の展示の充実およびガイド体制の強化、歴史･文化に関する情報発信の強化を図ることができた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	ガイダンス施設展示の充実：浦添城跡を中心とする市内文化財をわかりやすく紹介するため、ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ施設展示品の更なる充実が求められている。 文化財ガイドブック作成：個々の文化財の説明だけではなく、複数の文化財をつなぐ見学ルートの開発が求められている。 ガイド体制の充実：県外から訪れる観光客に市内文化財を紹介するため、ガイド体制の更なる充実が求められている。	ガイダンス施設展示の充実：日本や沖縄などの歴史的関係を理解するための年表が必要となる。 文化財ガイドブック作成：文化財ガイドブックに見学ルートを掲載する。 ガイド体制の充実：ガイド体制を充実するため、ガイドの増員を図る。

今後の取り組み方針

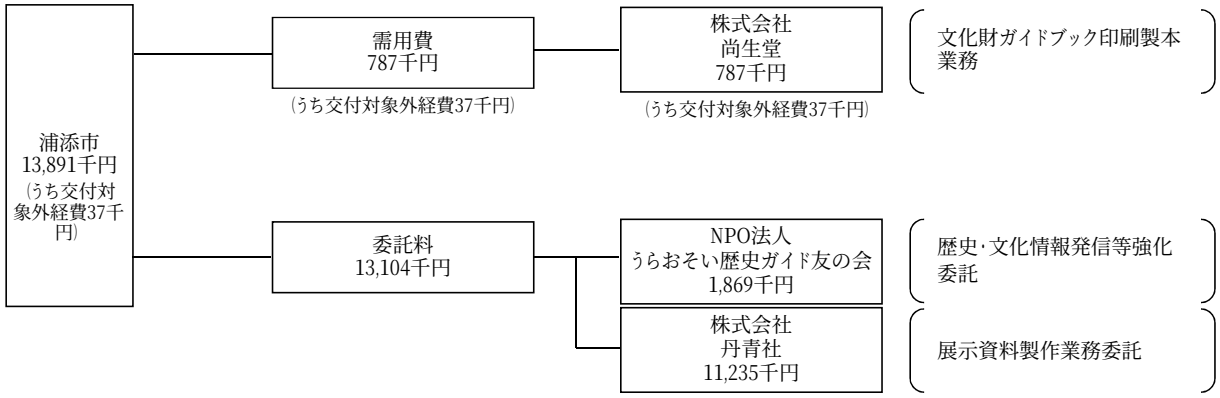
ガイダンス施設展示の充実：年表を作成する。

文化財案内マップ作成：文化財見学ルートを掲載した文化財ガイドブックの改訂版を印刷する。

ガイド体制の充実：ガイドの増員を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
13,891	13,854	11,083	2,771	37



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	地方自治法施行令及び浦添市契約規則に則り執行しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	10－①	浦添市南米移住者子弟研修生受入事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章-４－(1)-ア 国際ネットワークの形成と多様な交流の推進
担当部課名	企画部　国際交流課	事業実施（予定）年度	平成25～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－７

事業内容

戦前戦後を通して南米に移住した浦添市出身者やその子弟とのネットワークを強化するため、浦添出身の子弟を招聘し日本語研修、文化研修等を通して、本市及び本県と移住先国との友好親善、沖縄文化の振興・発展に貢献しうる人材を育成する。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額		4,544			
	(b)予算現額		4,544			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	0			
	A. 計(b+d)	0	4,544			
B. 執行済額			3,908			
うち交付金充当額			3,126			
次年度繰越額		0	0			
執行率(%)(B/A)		#DIV/0!	86.0%			

予算の状況の説明：日本語研修の委託契約を一般競争入札で行ったところ、想定していた金額より安価な金額で契約を締結できたため不用額が発生した。

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
南米移住者子弟研修生受入：２人	目　標	（　）	（２人）	（　）	（　）
	実　績		２人		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：ペルーとアルゼンチンから研修生をそれぞれ１人ずつ招聘し、沖縄において日本語研修・文化研修(琉球舞踊、三線、生け花、書道)を実施した。日本語研修では、ペルーからの研修生が日本語検定４級に合格した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
南米移住者子弟研修生受入：２人 帰国後に、現地市人会及び県人会の行事の場において、三線や琉舞など沖縄で学んだ成果を披露する。	目　標	（　）	（　）	（２人）	（　）	（　）
	実　績			２人		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：ペルーとアルゼンチンから研修生をそれぞれ１人ずつ招聘し、沖縄での日本語研修・文化研修等を通して本市及び本県と移住先国との友好親善、沖縄文化の振興・発展に寄与できる人材を育成した。
沖縄滞在期間においては、市事業への参加や市民との交流を通して地域の国際化に寄与した。
帰国後は、移住先国の市人会において研修の成果を披露し、現地における沖縄文化の継承や本市とのネットワークの強化に貢献した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・ペルー、ブラジル、アルゼンチンにおける在外浦添市人会に研修生候補者の推薦依頼を行ったところ、全ての市人会から候補者の推薦があり、現地において本市への研修生受入の要望の高さがうかがえる。 ・帰国後の現地における研修成果発表の期限を設けていないため、研修生の実績把握に時間がかかる。 ・帰国後は現地において研修の成果を発表し、市人会での研修成果の共有ができ浦添市との関わりを再認識する機会とすることができた。 ・海外移民に関する認知度強化	・帰国後の研修成果発表を各市人会の行事に合わせて実施しているが、これについて期限を設け、期限内で発表の場を設けるよう市人会に依頼する。 ・研修生を積極的に本市事業に参加させ、市民との交流を通して海外移民について広く知ってもらう。特に、若い世代への海外移民に関する認知度強化の方法を検討する。

今後の取り組み方針

研修生２人の受け入れを継続し、在外市人会との更なるネットワークの強化に取り組む。受け入れに際しては、研修生と市民との交流等を通して市民の国際化及び移民への理解の深化を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,070	3,908	3,126	782	162

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・日本語研修にかかる委託業者の選定は一般競争入札により適性に実施した。 ・研修生が滞在する不動産の賃貸借契約は、条件に合致する物件が1か所のみであったため、随意契約とした。 ・研修生に交付した交付金は、「浦添市南米移住者子弟研修生受入事業交付金支給要綱」に基づき交付し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	11-②	浦添市学童っ子応援プロジェクト		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章-２-(2)-イ 地域における子育て支援の充実
担当部課名	福祉部　保育課	事業実施(予定)年度	平成２４年度 ～平成３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-４
事業内容	放課後児童クラブに入所している保護者の負担軽減を図り、子育て環境を整備するため、民間施設の賃貸で運営する放課後児童クラブに対し、公的施設入所までの間、月額5万円を上限として家賃の半額補助を行なう。				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	3,640	4,842			
	(b)予算現額	3,640	4,842			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	―				
	A．計(b+d)	3,640	4,842			
B．執行済額		3,002	4,842			
うち交付金充当額		2,401	3,873			
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		82.5%	100.0%			
予算の状況の説明		・計画どおり放課後児童クラブ9箇所に対し、家賃補助を実施した。又、家賃に変更がないため、100%の執行率となった。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
学童クラブへの家賃補助	目　標	（１０箇所）	（９箇所）	（　）	（　）
	実　績	１０箇所	９箇所		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：公的施設に入居していない放課後児童クラブ9箇所に対し、家賃補助を実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
公的施設入居学童クラブ数	目　標	（　）	（２箇所）	（０箇所）	（　）	（　）
	実　績		２箇所	０箇所		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：平成26年度中に学童クラブ建設工事を予定（平成25年度に実施設計が完了）しており、平成27年度には公的施設へ移行する学童クラブ数が2か所になる予定である。

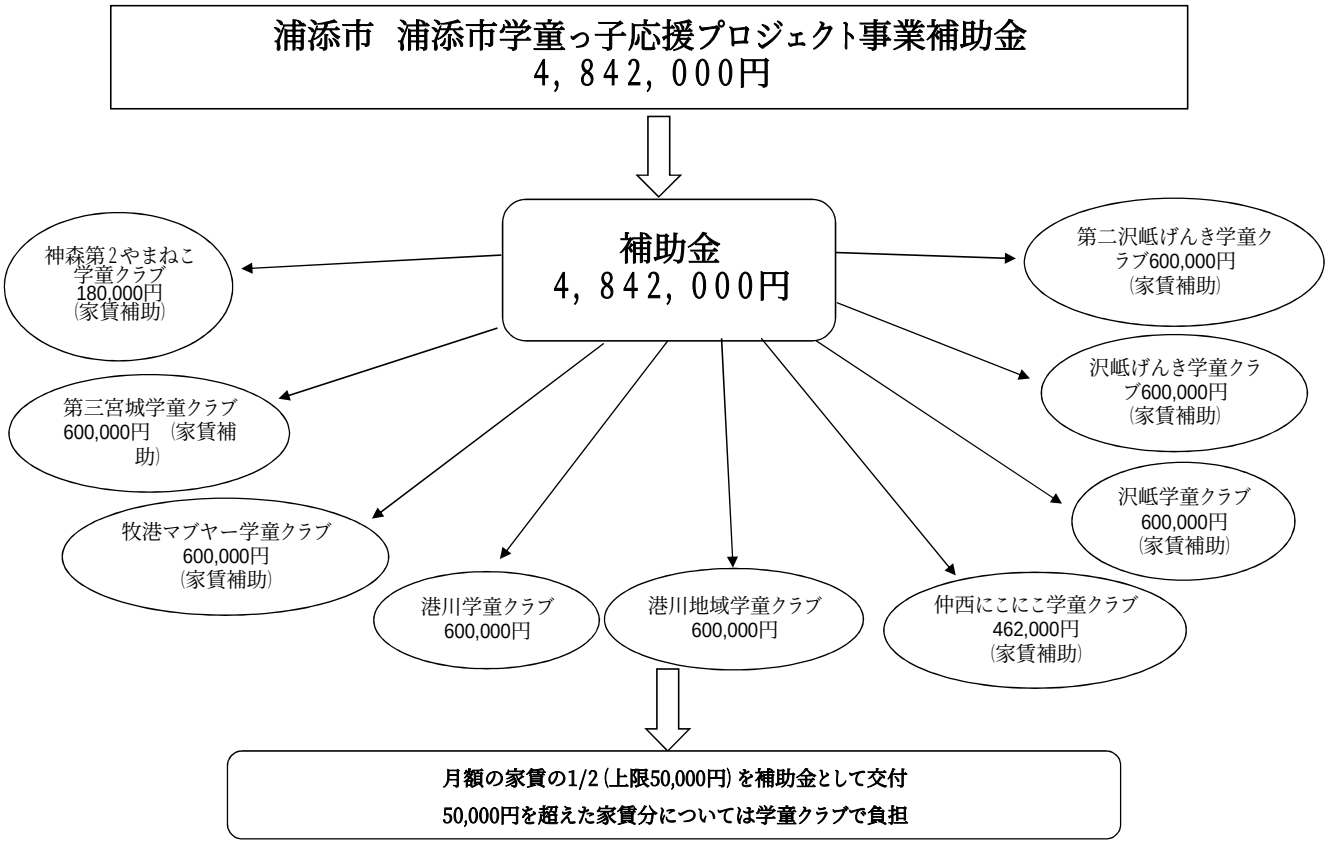
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	学童クラブの利用を希望する保護者のニーズが高まっており、毎年、学童クラブ入所児童が増加している。この傾向については、今年度以降も続くと予想される。そのため、継続して本事業を実施し、保護者の就労支援や適切な環境での放課後児童の預かりが図られるよう、引き続き公的施設移行していない学童クラブへの支援を行なっていくとともに、学童クラブの公的施設移行を進めていく。	学童クラブの公的施設移行については、計画的な公的施設の整備や活用できる公的施設の検討等、事業実施の所管課にとどまらず、市における実施計画や財源の確保等、関係部署と調整・連携しながら、長期的・段階的な実施になることから、今後も本事業を実施しながら、学童クラブの公的施設移行を推進していく。

今後の取り組み方針

浦添市内の学童クラブと月1回定期的に調整会議をおこない、市内の学童クラブの現状把握に努める。
公的施設に移行していない学童クラブの公的施設移行への計画については、長期的、段階的な実施になることから、市の実施計画や財源の確保、教育委員会との調整等、関係部署としっかりと協議をおこない、できる限り早くスムーズに公的施設入所できるよう連携・調整を図っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,842	4,842	3,873	969	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	浦添市学童っ子応援プロジェクト実施規程に基づき補助金の交付対象となる学童の要件を適切に定めており、予算の規模、事業実施において、補助の上限額を設けて家賃補助を行うことで受益者の負担関係や費目・用途についても適正に取り扱われている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	12-①	災害時備蓄食糧購入強化促進事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－２－（４）－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	総務部　防災危機管理室	事業実施（予定）年度	平成24年～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１０－（２）
事業内容	大規模災害に備え、防災計画に基づいた備蓄食糧を確保し、安心安全に繋げる。 (参考) 市の人口の1/20の住民の食料3日分を備蓄する。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	1,959	1,959			
	(b)予算現額	1,959	1,959			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－				
	A．計(b+d)	1,959	1,959			
B．執行済額		1,330	1,312			
うち交付金充当額		1,064	1,049			
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		67.9%	67.0%			

予算の状況の説明：執行率が低い理由として、アルファ米の契約を一般競争入札で行ったところ、想定していた金額より安価な金額で契約を締結できたための不用額である。

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
非常用食糧の備蓄	目　標	（非常用食糧の備蓄）	（非常用食糧の備蓄）	（　）	（　）
	実　績	非常用食糧の備蓄	非常用食糧の備蓄		
非常用食糧の備蓄数	目　標	（10,236食）	（8,800食）	（　）	（　）
	実　績	14,800食	8,800食		

達成状況説明：H25年度は、避難所４箇所（市内小学校）に食糧（各2,200食、４箇所合計8,800食）を備蓄し非常時における食糧の確保をおこなった。
（※1避難所あたり避難者244名分の３日分の食糧になる。累計で８避難所に17,600食を備蓄した。）

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
非常用食糧の備蓄（市人口の5%の３食３日分の食糧）の20%	目　標	（0）	（20%）	（20%）	（　）	（　）
	実　績		28.9%	17.20%		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：市内の避難所等４箇所（牧港小、港川小、内間小、神森小）の学校に非常用食糧(アルファ米）各2,200食を備蓄し災害に備えた。
必要最低限の食糧確保を行うことにより住民の安心に繋げた。
備蓄食糧数の目標を達成していない理由としては、過去に備蓄した食糧について消費期限が経過したため、全体総数として備蓄数が減少となった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	食糧の消費期限が5年となっており、5年後には新たな食糧の確保が必要となるため、計画的に備蓄する必要がある。また、災害の規模や状況によっては食糧不足が懸念されるため、住民自らが平時より備えとして食糧を確保する必要がある。	行政による食料備蓄のほか、地域住民に対しても防災講座や訓練等を通じて、食糧や身の回り品の家庭内備蓄を励行していく。
	備蓄食糧（アルファ米）の賞味期限は5年間となっているが、防災倉庫（プレハブ倉庫）へ保管していることもあり、保管状況（温度や湿度）によっては劣化が早まることが懸念される。夏場の高温下での管理に注意が必要である。	定期的に点検を行い管理を徹底する。

今後の取り組み方針

計画に沿って、5年間単位で予定備蓄数に達するよう事業を進めていく。
（参考）　備蓄計画：市の人口1/20の3食3日分を備蓄する。
備蓄食糧必要数　51,200食
H24～25年度実施分　21,200食
H26年度予定　10,000食
H27年度予定　10,000食
H28年度予定　10,000食

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,312	1,312	1,049	263	0

浦添市 1,312千円 → 需用費(食糧費) 1,312千円 → 光洋商事株式会社 1,312千円（備蓄食糧（アルファ米）8,800食 購入費）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	事業者は入札により選定した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	12-②	災害時備蓄食料保管倉庫等整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	総務部　防災危機管理室	事業実施(予定)年度	平成24年～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)
事業内容	備蓄食糧等を保管するため、備蓄食糧保管倉庫等の整備や発電機等電源の確保、また簡易トイレ等の設置等を行なう。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	3,668	3,668			
	(b)予算現額	3,668	3,668			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－				
	A．計(b+d)	3,668	3,668			
B．執行済額		3,258	3,417			
うち交付金充当額		2,606	2,733			
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		88.8%	93.2%			
予算の状況の説明		不用額については、一般競争入札及び随意契約による執行により単価が安くなったことによる。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
備蓄倉庫:4棟 発電機:4機 造水機:4機 簡易トイレ:4箇所	目　標	備蓄倉庫:4棟 発電機:4機 造水機:4機 簡易トイレ:4箇所	備蓄倉庫:4棟 発電機:4機 造水機:4機 簡易トイレ:4箇所	（　）	（　）
	実　績	備蓄倉庫:4棟 発電機:4機 造水機:4機 簡易トイレ:4箇所	備蓄倉庫:4棟 発電機:4機 造水機:4機 簡易トイレ:4箇所		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：避難所4箇所(市内小中学校)に防災備蓄倉庫を設置するとともに、発電機(1機)、造水機(1機)及び簡易トイレ(10個)を各避難所に設置した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
備蓄倉庫:4棟 発電機:4機 造水機:4機 簡易トイレ:4箇所	目　標	（0）	（備蓄倉庫:4棟 発電機:4機 造水機:4機 簡易トイレ:4箇所）	（備蓄倉庫:4棟 発電機:4機 造水機:4機 簡易トイレ:4箇所）	（　）	（　）
	実　績		備蓄倉庫:4棟 発電機:4機 造水機:4機 簡易トイレ:4箇所	備蓄倉庫:4棟 発電機:4機 造水機:4機 簡易トイレ:4箇所		

進捗状況説明：防災倉庫を設置し非常用の備蓄食料や防災用資機材を保管することにより、災害時において安定かつ継続的な避難所運営を行なうことができ、災害に強いまちづくりの推進を図ることができた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	避難所を運営するにあたり、発電機の発電量や造水機の造水量、また簡易トイレの設置数などに不足が生じることが懸念される。	避難所の収容人数等から避難所運営に必要な量を算出し、発電及び造水能力の高い防災用資機材の設置に努める。

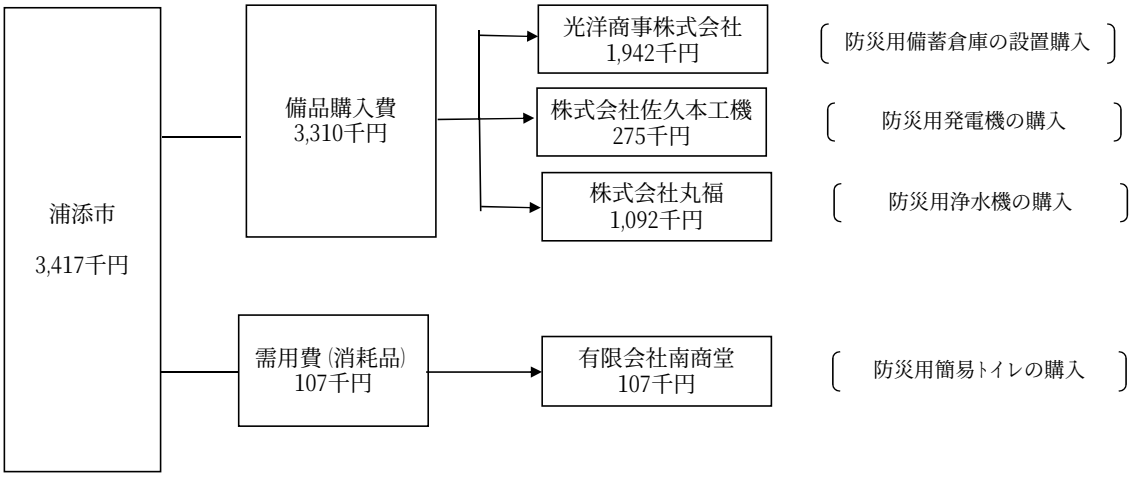
今後の取り組み方針

市内における収容避難所（市内小中学校等合計20箇所）に、安定かつ継続的に避難所運営が可能となるよう防災資機材等の確保を実施していく。具体的には、全避難所に、防災備蓄倉庫、発電機、浄水機、簡易トイレを設置する。なお、確保にあたっては、避難者の収容可能人数等を考慮しながら、電気や水、トイレ等の必要量を検証しながら確保に努める。

H24年度　4箇所
H25年度　4箇所
H26年度　4箇所
H27年度　4箇所
H28年度　4箇所（防災拠点施設含む）

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,417	3,417	2,733	684	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	業者選定については、一般競争入札により実施した。ただし、地方自治法施行令第167条の2第1項第1号によるものについては、随意契約により選定を行なった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13－①	航空機騒音基礎調査事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－２－(5)－ア
担当部課名	企画部　企画課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決 Ⅲ－２－(5)

事業内容

普天間飛行場に隣接する本市において、日常的に航空機騒音が発生し、市民生活に大きな影響を与えていることから、市内3箇所に騒音測定器を設置し、騒音被害の具体的なデータを収集分析する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	23,544	1,148			
	(b)予算現額	23,544	1,148			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	－			
	A．計(b+d)	23,544	1,148			
B．執行済額		18,900	598			
うち交付金充当額		15,120	478			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		80.3%	52.1%			
予算の状況の説明		当初予算に組み込まれていた通信運搬費は庁内LANの活用により不要となった。また、年3回程度必要な機器類の調整作業等においては、平成24年度に実施した設置工事の際の契約にある瑕疵担保期間を有効利用したことによって作業業務の委託を不要にし、消耗部品の交換作業及びそれに伴う機器類の調整作業の1回のみを行なうことによって、当初の予算よりも執行額を低く抑えることができた。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
航空機騒音測定器の設置箇所数	目　標	(　3箇所　)	(　－　)	(　　)	(　　)
	実　績	3箇所	－		
航空機騒音の測定	目　標	(　－　)	(　1式　)	(　　)	(　　)
	実　績	－	1式		

達成状況説明：平成25年度の1年間を通し昼夜や天候などに左右されることなく、発生する航空機騒音を時間別に測定することができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
航空機騒音測定器の設置箇所数	目　標	(　　)	(　3箇所　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績		3箇所			
【参考指標】航空機騒音の測定	目　標	(　　)	(　－　)	(　1式　)	(　1式　)	(　　)
	実　績		－	1式	1式	

進捗状況説明：1年間の航空機騒音発生回数としては、牧港局で6,746回、当山局で5,627回、内間局で2,948回を観測し、そのうち深夜(22時～6時)の時間帯は、牧港局で268回、当山局で103回、内間局で74回を観測するなどし、昼夜や天気などを問わず観測することができた。
今後は年3回程度の保守を行ない、発生する航空機騒音を時間別に欠測なく測定し、騒音被害の客観的データを収集し分析する。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	(ア)沖縄県は例年のように台風が襲来するため、航空機騒音を集音する屋外用マイク等が破損し、測定できない期間の生ずることが懸念される。 (イ)騒音データの欠損期間が長期化すると、測定結果の信憑性が低下することが懸念される。	●航空機騒音データの欠損期間を長期化させないために、速やかに代替機を設置する等の作業を実施する必要がある。 ●市民からの苦情に対し、客観的な騒音データを基に適切に対応する必要がある。そのためには、普天間飛行場隣接市及び基地所在市として航空機騒音データを蓄積することが重要である。 ●本業務は指定された日時に機器の部品交換や調整を行う更新作業の意味合いが強い保守業務であると考えてはいるが、交付金の対象合致の検証作業も含め対応する必要がある。

今後の取り組み方針

●現時点において想定されない将来の社会情勢、市民感情に適切に対応するべく、沖縄の特殊事情である米軍基地から派生する航空機騒音データを蓄積していく。
●航空機騒音データの正確な数値、データの把握に努め、分析した結果を基に関係機関へ航空機騒音被害を訴えて航空機騒音を減少させていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
598	598	478	120	

浦添市 598千円 → 委託料 598千円 → 西川計測㈱ 沖縄営業所（航空機騒音測定装置の修繕業務委託）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○　地方自治法施行令及び浦添市契約規則に則り執行しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13-②	浦添市中学生平和交流事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－４－(2)－ウ アジア・太平洋地域の安定と平和に資する平和・人権協力外交の展開
担当部課名	企画部　国際交流課	事業実施（予定）年度	平成25～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－(1)

事業内容

平和への願いを風化させることなく次世代に引き継ぐため、中学生を対象に平和学習を実施する。県内では、浦添・宜野湾の戦跡や平和祈念資料館等を活用した沖縄戦に関する研修を行い、長崎市では原子爆弾の実相を学ぶことを通して平和を希求する心を培う。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額		1,611			
	(b)予算現額		1,611			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	0			
	A. 計(b+d)	0	1,611			
B. 執行済額			1,563			
うち交付金充当額			1,251			
次年度繰越額		0	0			
執行率(%)(B/A)		#DIV/0!	97.0%			

予算の状況の説明：当初予定していた人数を長崎市に派遣することができ、当初計画のとおり予算を執行することができた。

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
市内中学校5校より、中学生10人、教諭1人を浦添市中学生平和交流団として長崎市へ派遣する。	目　標	（　）	（11人）	（　）	（　）
	実　績		11人		

達成状況説明：

市内中学生10人、教諭１人で浦添市中学生平和交流団を構成し、長崎市に派遣した。派遣に当たっては、県内で沖縄戦に関する事前研修を３回実施し、派遣後は事後研修を２回実施した。また、浦添市戦没者追悼式典において平和のメッセージを朗読した。

長崎での研修を修了した団員10人(中学生のみ)を浦添市ピースメッセンジャーとして認定した。

○事前研修(３回)：浦添・宜野湾戦跡巡り、南部戦跡巡り
○本研修(４日間)：長崎戦跡巡り、青少年ピースフォーラムへの参加
○事後研修(２回)：研修に関する壁新聞作成、宮崎県日向市との平和交流
○その他：浦添市戦没者追悼式典での平和のメッセージ朗読

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
市内中学校5校より、中学生10人、教諭1人を浦添市中学生平和交流団として長崎市へ派遣する。 ・長崎市への派遣後は、研修報告を提出させ、報告書としてまとめる。 ・研修報告と平和に関する壁新聞を市役所及び市立中学校で展示し、市民や各中学校の生徒に平和について考える機会としてもらう。 ・10月に開催される浦添市戦没者追悼式典において、平和のメッセージを朗読する。	目　標	（　）	（　）	（11人）	（　）	（　）
	実　績			11人		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：

市内中学生10人、教諭１人で浦添市中学生平和交流団を構成し、長崎市に派遣した。派遣に当たっては、県内で沖縄戦に関する事前研修を３回実施し、派遣後は事後研修を２回実施した。また、浦添市戦没者追悼式典において平和のメッセージを朗読し、研修で培った平和を希求する心を発信した。

長崎での研修を修了した団員10人(中学生のみ)を浦添市ピースメッセンジャーとして認定することで、団員の平和意識の高揚を図り、平和の担い手としての自覚を深めることができた。

研修修了後は、ピースメッセンジャーを市が実施する平和に関するパネル展等の平和のメッセージへ参加させるとともに、ピースメッセンジャーによる周囲の人への参加呼びかけを実施。

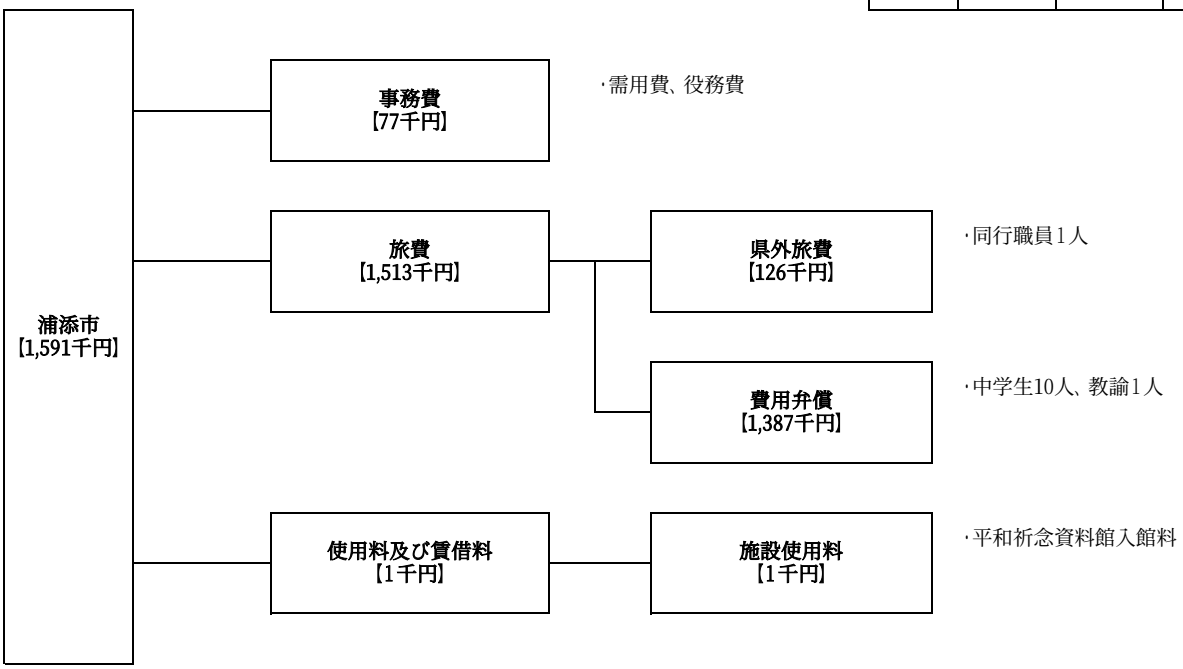
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・研修報告と事後研修で作成した平和に関する壁新聞の展示募集を市内の5中学校に対して行ったが、希望校が4校であった。	・各中学校に対する本事業の趣旨や意義の効果的な説明方法を検討し、本事業への理解を深めてもらうことで壁新聞展等の開催への協力につなげる。

今後の取り組み方針

継続して浦添市中学生平和交流団を長崎市へ派遣する。研修を通して学んだことを研修報告・壁新聞展等で市民や研修に参加していない生徒に伝える。
また、ピースメッセンジャーを研修修了後に市が実施する平和に関する事業へ参加させるとともに、ピースメッセンジャーによる周囲の人への参加呼びかけを実施する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,591	1,563	1,251	312	28



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・費目、使途は、「浦添市証人等の実費弁償に関する規則」に基づいて執行されており、事業目的に即した適切な執行であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13-③	里道及び水路の境界確定復元事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－２－（５）－イ 米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決
担当部課名	都市建設部　道路課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－12

事業内容

戦後、地籍が確定されないままに家屋等が建築された箇所等について、境界問題を解決し、公共用地を適正に管理するため、里道及び水路の用地測量を実施し、境界の復元･確定を行う。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	60,000	125000			
	(b)予算現額	29,987	85000			
	(c)増減額(b-a)	▲ 30,013	▲ 40,000			
	(d)繰越額	－				
	A．計(b+d)	29,987	85,000			
B．執行済額		29,987	85,000			
うち交付金充当額		23,989	68,000			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%			

予算の状況の説明：執行方法の検討に時間を要し、執行期間が短くなったため当初予算の執行が困難になり減額補正して執行した。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
約125kmの里道及び水路表示登記延長率	目　標	（里道･水路の境界確定率）	（里道･水路の境界確定率10％）	（　）	（　）
	実　績	0	境界確定率4％		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：業務量が膨大であることから発注方法や境界測量について十分な検討を行った、それに時間を要し執行期間が短くなり、目標達成に遅れが生じてた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
里道及び水路の位置確定率	目　標	（-）	（里道･水路の位置確定率）	（10%）	（　）	（　）
	実　績		0	4%		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：業務量が膨大であることから発注方法や境界測量について十分な検討を行った、それに時間を要し執行期間が短くなり、目標達成に遅れが生じた。

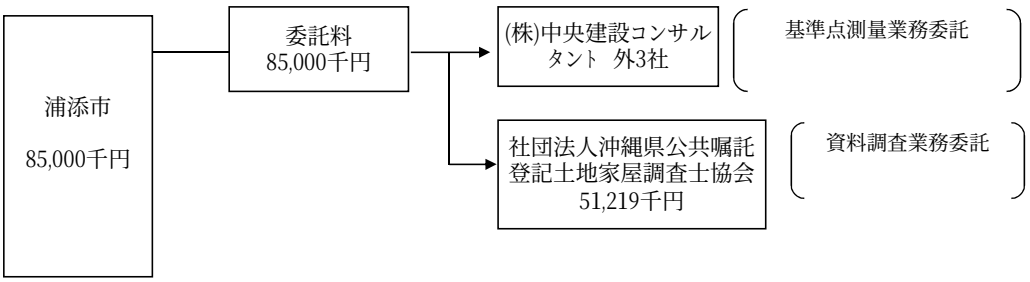
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	資料調査業務委託の契約相手については地積測量図作成のための資料調査であることと、業務量が膨大であること等から発注方法についての問題が生じた。	境界測量の発注方法を里道の路線単位ごとに行うのではなく、市内を数ブロックに分けそのブロックを一括して、社団法人沖縄県公共嘱託登記土地家屋調査士協会で行うことにより、作業効率の向上をはかる。また、未買収道路用地事業と連携し、基準点測量の共有化をはかる。

今後の取り組み方針

今後の取り組み方針として、区域ごとに用地測量、境界確定及び表示登記を行うと伴に、基準点測量等は未買収道路用地所得事業と連携し、事業を進めます。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
85,000	85,000	68,000	17,000	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○基準点測量委託事業者は指名競争入札により決定した。 ○資料調査業務委託の契約相手については地積測量図作成のための資料調査であることと、業務量が膨大であること等から市内部で発注方法について十分検討を行い、社団法人沖縄県公共嘱託登記土地家屋調査士協会との単価契約による随意契約として事業を執行した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13－④	牧港補給地区跡地利用まちづくり活動支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－３－(13) 駐留軍用地跡地の計画的な整備
担当部課名	企画部　企画課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-8

事業内容	牧港補給地区の跡地利用を円滑に進めるためには、計画段階から地権者との協働を図る必要がある。そのため、地主会と連携を図り、地主会の若手が組織を自立化できるよう支援する目的で、跡地利用に関する勉強会等を実施する。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	2,279	2,279			
	(b)予算現額	2,279	2,279			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	－			
	A．計(b+d)	2,279	2,279			
B．執行済額		1,470	2,037			
うち交付金充当額		1,176	1,629			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		64.5%	89.4%			

予算の状況の説明：不用額については、入札差額によるもの。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･牧港補給地区の地主による跡地まちづくり活動の支援	目　標	（　3回　）	（　3回　）	（　3回　）	（　3回　）
	実　績	3回	3回		
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：当初の目標どおりの回数を行なうことにより、勉強会受講者の事業への習熟度が高まり、将来に向けて跡地利用が円滑に行われるよう支援することができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
･牧港補給地区の地主による跡地まちづくり活動の支援	目　標	（　　）	（　3回　）	（　3回　）	（　3回　）	（　　）
	実　績		3回	3回		
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：･牧港補給地区の地主や市民に対して跡地のまちづくり活動の支援を引き続き行うことで、将来に向けて跡地利用が円滑に行われるように、勉強会受講者数の拡大や習熟度の上昇を図る。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・市民及び地権者の活動会員の拡大 ・早期返還に向けて動き出していることについての、市民並びに地権者の反応の変化を把握した上での、勉強会の予定内容の確認	・市民及び地権者のまちづくり活動会員数の拡大を図り、跡地計画の周知、意見の反映、事業の実現性を高める ・市民や地権者の最新の状況に合わせたニーズをくみ取り、的確な跡地利用の円滑化を図る

今後の取り組み方針

まちづくり活動会員数の拡大や活動内容の充実化を図る。また、活動会員等にアンケートなどを行ない、考え方の変化などを察知しニーズを捉える。

・H26年度目標：若手の会会員数＝8人（1増）

・跡地利用基本計画で設定した産業振興地区への企業誘致などの利活用を含めた意見の交換

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,037	2,037	1,630	407	

浦添市 2,037千円 → 委託料 2,037千円 → 玉野総合コンサルタント㈱沖縄事務所 2,037千円

（牧港補給地区の地権者及び市民を対象とした跡地利用を円滑に行う為の勉強会の企画や開催並びに報告書の作成等の）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は都市計画及び土地区画整理に関して高い技術力を有する企業を選定しており、企業組織、実績、知識等を勘案した上で妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13－⑤	牧港補給地区情報システム事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章3(13) 駐留軍用地跡地の計画的な整備
担当部課名	企画部　企画課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-8

事業内容

平成24年度に構築した牧港補給地区情報システムを活用し、土地所有者等の最新情報を把握することで、跡地利用に関する業務に役立てる。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	13,167	300	3,000	3,000	3,000
	(b)予算現額	13,167	300			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	－			
	A．計(b+d)	13,167	300	3,000	3,000	3,000
B．執行済額		2,657	300	0	0	0
うち交付金充当額		2,125	240			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		20.2%	100.0%			

予算の状況の説明：当初予定していた最新データへの更新を行なうことにより、予定どおりに予算を執行することができた。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
牧港補給地区の土地及び所有者情報システムの構築	目　標	(　1式　)	(　－　)	(　－　)	(　－　)
	実　績	1式			
システムの維持管理とデータの更新	目　標	(　－　)	(　1式　)	(　1式　)	(　1式　)
	実　績	－	1式	1式	1式

達成状況説明：システムデータの更新及び図面等の修正作業を行なった。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
･牧港補給地区の所有権の変化に対応した情報の把握･維持	目　標	(　)	(　1式　)	(　1式　)	(　1式　)	(　)
	実　績		1式	1式		
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明：土地及び地権者情報のデータベースによるシステムを構築した。当該システムのデータベースの最新情報への更新及び図面の修正作業を行う。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・データベースの最新化。 ・跡地利用推進に影響する文化財の分布状況などの把握。	・年1回程度のデータベース更新を確実に行なう必要性がある。 ・文化財発掘調査などの他事業による調査データを入力する。

今後の取り組み方針

・牧港補給地区内の土地登記情報の変更頻度を把握し、頻度が多ければ年1回程度行なっているデータ更新作業を半年に1回程度にするなどの対策を、費用対効果の観点から検討する。
・関連機関と連携しながら最新情報の収集を図り、様々な分析が迅速かつ的確に行えるようなシステムの構築に努める。

・沖縄県における駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用の推進に関する特別措置法に規定する特定事業の用に供する土地についての情報を本システムを活用して取得し、同法に規定する土地を譲渡しようとする場合の届出義務、土地の買取り希望の申出、土地の買取りの協議及び総合整備計画等への活用に資したい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
299	299	239	60	

浦添市 299千円 → 委託料 299千円 → ㈱パスコ 沖縄支店（牧港補給地区の最新の地権者や土地の情報を把握し、跡地）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○地方自治法施行令第167条の2第1項第2号を適用し随意契約を適正に行った。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認した結果、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	13－⑥	浦添市「未買収道路用地取得」基金造成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(5)－イ 米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決
担当部課名	都市建設部　道路課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－12

事業内容

戦後及び本土復帰の動乱期において、権利の補償をせずに整備した市道の用地補償措置を計画的及び柔軟に対応するため、基金を造成し、補償を行う。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	1,213,697	1,170,968			
	(b)予算現額	1,213,697	1,170,968			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	－			
	A．計(b+d)	1,213,697	1,170,968			
B．執行済額		1,213,697	1,170,968			
うち交付金充当額		970,957	936,774			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%			

予算の状況の説明：基金を3年間で積立てて、実施を9年間で行う予定である。
基金積立については、約12．8億円を3年間で積み立てる予定であったが、平成24年度及び平成25年度は予定より下回った為、4年間かかる見込みである。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
基金の積み立て	目　標	(　13億円　)	(　11億円　)	(　　)	(　　)
	実　績	1,213,697千円	1,170,968千円		
目標については、基金積立額に相当する業務内容で用地測量(筆数)、不動産鑑定(路線数)、用地取得(面積)である。 実績については、積立金を取り崩して執行した内容である。	目　標	(　18,578㎡　)	用地測量1,200筆 (不動産鑑定33路線) 用地取得15330㎡	(　　)	(　　)
	実　績	0　㎡	用地測量 21筆 不動産鑑定　0路線 用地取得　0㎡		

達成状況説明：基金積立については、ほぼ目標を達成することができた。
積立基金の活用については、用地測量(基準点設置･地積測量)及び用地買収を行う予定であったが、用地測量の基準点設置は完了できたが地積測量は他事業との調整や地権者立会がうまくいかず執行が遅れた。地積測量図作成が遅れたため、用地買収の売買契約まで至らなかった。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
基金積立額に相当する業務内容。 用地測量(筆数)、不動産鑑定(路線数)、用地取得(面積)	目　標	(　-　)	(　18,578㎡　)	(用地測量1,200筆 不動産鑑定33路線 用地取得15330㎡)	(　　)	(用地取得 56,000㎡)
	実　績		0㎡	用地測量21筆 不動産鑑定0路線 用地取得　0㎡		

進捗状況説明：基金積立については、ほぼ目標を達成することができた。
【参考指標】　積立金の活用
用地測量(基準点設置･地積測量)及び用地買収を行う予定であったが、用地測量の基準点設置は完了できたが地積測量は他事業との調整や地権者立会がうまくいかず執行が遅れた。地積測量図作成が遅れたため、用地買収の売買契約まで至らなかった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	積立金の活用について 本事業の開始が平成２４年度の12月であったため実質25年度からの開始となった。 膨大な事業量であることから、潰地路線の把握に時間がかかったことや測量業務の発注方法の検討に時間がかかった。 また、今年度の執行箇所には、次の問題があった。 ○他事業と事業区域が重なっていたため測量の調整に時間がかった。 ○測量において地図上の問題が生じその解決に時間を要した土地があった。	未買収道路の現状把握をしっかり行い、他事業との関係や地図上の問題がある地域等測量に時間がかかる区域については事前に対策を立てることが必要である。 膨大な筆数の測量を行わなければならないため、調査員を増員したり、里道及び水路の境界確定復元事業と業務を連携し、事業の効率化を図り、出来るだけ多くの土地の測量を行い、測量済み路線のストックを増やすことにより効率よく用地買収ができる。

今後の取り組み方針

まずは測量済み路線のストックを増やすこと。その中から路線ごとに優先順位を決める。そして決定された路線ごとに国税調整、土地鑑定評価及び用地買収を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,170,968	1,170,968	936,774	234,194	

浦添市
1,170,968千円

→ 未買収道路取得基金
1,170,968千円

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	基金を3年間で積立てて、実施を9年間で行う予定である。事業計画どおり積み立てることができた。 実施については、用地測量を沖縄県公共嘱託登記土地家屋調査士協会に委託し執行したが、年度内に測量成果を上げることができず用地買収まで執行することができなかった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	